

水害や避難に関する意識調査  
報告書

令和4年5月

総務省東北管区行政評価局  
東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔



第1部 調査の概要.....	1
第2部 調査の結果.....	6
河川のはん濫・浸水の可能性についての考え.....	6
水害の危険性があると思ったきっかけ.....	8
自宅から別の安全な場所に避難しようと思うか.....	10
避難を開始しようと思うきっかけ.....	12
避難しようと思う場所を決めているか.....	15
避難する場所.....	17
避難場所までの移動手段.....	19
避難場所までの移動時間.....	21
同居する家族以外の人との避難.....	23
一緒に避難したいと思う相手.....	25
一緒に避難したいと思う理由.....	26
自宅にとどまると思う理由.....	28
自宅にとどまらなければならない理由.....	30
自宅以外の場所には行きたくない理由.....	31
災害時に一人で避難することが難しい人が近所にいるか.....	32
災害時に一人で避難することが難しい人.....	34
避難の手助けができるか.....	35
手助けできると思う内容.....	37
手助けできると思うとき.....	38
手助けできない理由.....	40
手助けを任せる人.....	42
国、市町村の避難計画策定取組の認知度.....	44
避難計画策定取組への参加協力意向.....	46
避難の手助けを行うことができると思うか.....	48
避難の手助けをスムーズに行えると思う理由.....	50
うまくいかないと思う理由.....	51
問題になる内容.....	52
参加協力できない理由.....	54
「(1) 大雨・洪水警報」の理解度.....	56
「(2) 大雨特別警報」の理解度.....	58
「(3) 線状降水帯」の理解度.....	60
「(4) はん濫危険水位」の理解度.....	62
「(5) アンダーパス」の理解度.....	64
「(6) ハザードマップ」の理解度.....	66
「(7) 指定緊急避難場所」の理解度.....	68
「(8) 指定避難所」の理解度.....	70

「(9) 避難行動要支援者」の理解度.....	72
「(10) タイムライン」の理解度.....	74
「(11) 避難指示」の理解度.....	76
「(12) (大雨) 警戒レベル1～5」の理解度 .....	78
「(13) 緊急安全確保 (警戒レベル5に相当)」の理解度.....	80
はん濫危険性を示す情報の順番.....	82



# 第1部 調査の概要

## 1. 調査目的

平成30年7月の西日本豪雨など、近年、全国で洪水などの被害が発生しており、水害による犠牲者のうち、在宅の高齢者等の逃げ遅れによるものの割合が多いと指摘されている。東北6県は、全国平均に比べて高齢化率がおおむね高く、北東北を中心に人口減少も進んでおり、地域における避難支援等関係者の確保など、避難行動要支援者の避難支援に関する取組の重要性が高まっているものと考えられる。

本調査は、災害発生時における在宅の要支援者の円滑かつ迅速な避難の確保を推進する観点から、地域住民を対象として、水害時の避難行動についての意識調査を実施し、行政上の課題を把握し、関係行政の改善に資することを目的とする。

## 2. 調査設計

### (1) 調査地域

調査対象地域は、住民意識を調査するに当たり、過去の水害の経験が住民意識に及ぼす影響も考慮する必要があることを踏まえ、以下のとおり、近年の水害の発生頻度が異なる三つの地域を選定した。

対象とした河川	岩木川流域(青森県)	雄物川流域(秋田県)	最上川流域(山形県)
当該河川を選定した理由	近年、河川氾濫による水害が発生していない地域	おおむね5年以内に、河川氾濫による水害が発生した地域	最近(1~2年以内)に、河川氾濫による水害が発生した地域
調査対象市町村	弘前市	大仙市	村山市、大石田町、大蔵村
近年の水害発生状況	河川氾濫による水害は発生していない(令和2年9月、大雨により市内各所で冠水被害が発生)。	平成29年7月雄物川(支流含む)の氾濫により、全壊3棟を含む850棟以上で浸水被害が発生した(令和2年7月、市内福部内川で氾濫が発生したが、住宅被害は比較的軽微であった。)	令和2年7月の豪雨により最上川(支流含む)流域の26市町村で浸水被害が発生した。 大石田町、大蔵村では最上川(本流)が氾濫、多くの住民が避難した。村山市は被災市町村中、浸水面積が最も大きかったものの、住宅被害は比較的軽微であった。

(2) 標本数

対象地域	配布先	配布数
青森県 弘前市	宮園町	690
秋田県 大仙市	刈和野地区、強首地区	760
山形県 村山市	十日町・中町・中央地区 駅西地区、宿地区	486
山形県 大石田町	二丁目、本町、横町、緑町、 桂木町	151
山形県 大蔵村	合海地区	73
合計		2,160

(3) 調査方法

東北管区行政評価局が委託した一般社団法人 新情報センターが、上記配布先に対しポスティングにより調査表を配布し、郵送により回収の上、集計を実施した。

(4) 調査票配布期間

令和4年1月17日～1月26日

(5) 調査票回収期間

令和4年1月17日～2月15日

### 3. 回収結果

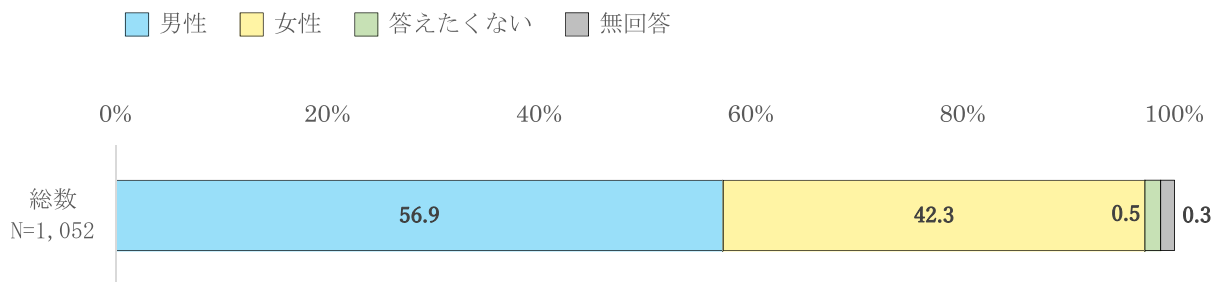
対象地域	回収数	回収率
青森県 弘前市	358	51.9%
秋田県 大仙市	330	43.4%
山形県 村山市	225	46.3%
山形県 大石田町	101	66.9%
山形県 大蔵村	38	52.1%
合計	1,052	48.7%

#### 4. 報告書を読む際の留意点

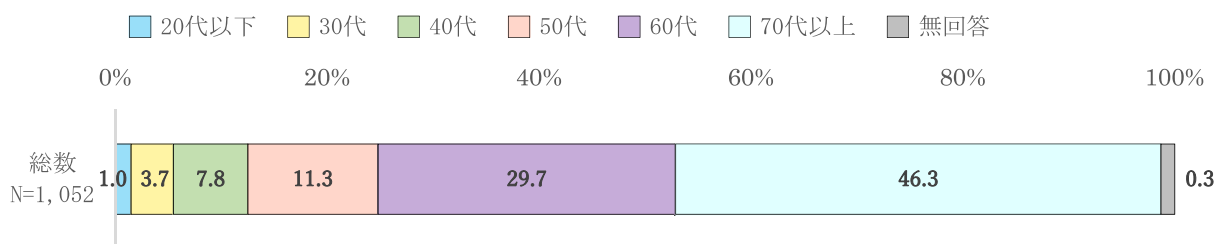
- (1) N（人）は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 結果数値（%）は表章単位未満を四捨五入してあるので、内訳の合計が100にならないことがある。
- (3) M.T.（Multiple Total の略）は、複数回答の質問において回答数の合計を回答者数（N）で割った比率である。
- (4) 統計表等に用いた符号は次のとおりである。
  - 0.0：表章単位に満たないが、回答者がいるもの
  - －：回答者がいないもの

## 5. 回答者の基本属性

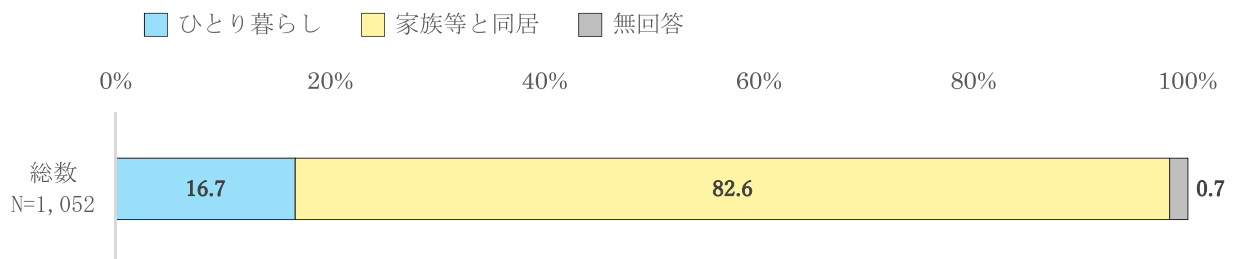
### (1) 性別



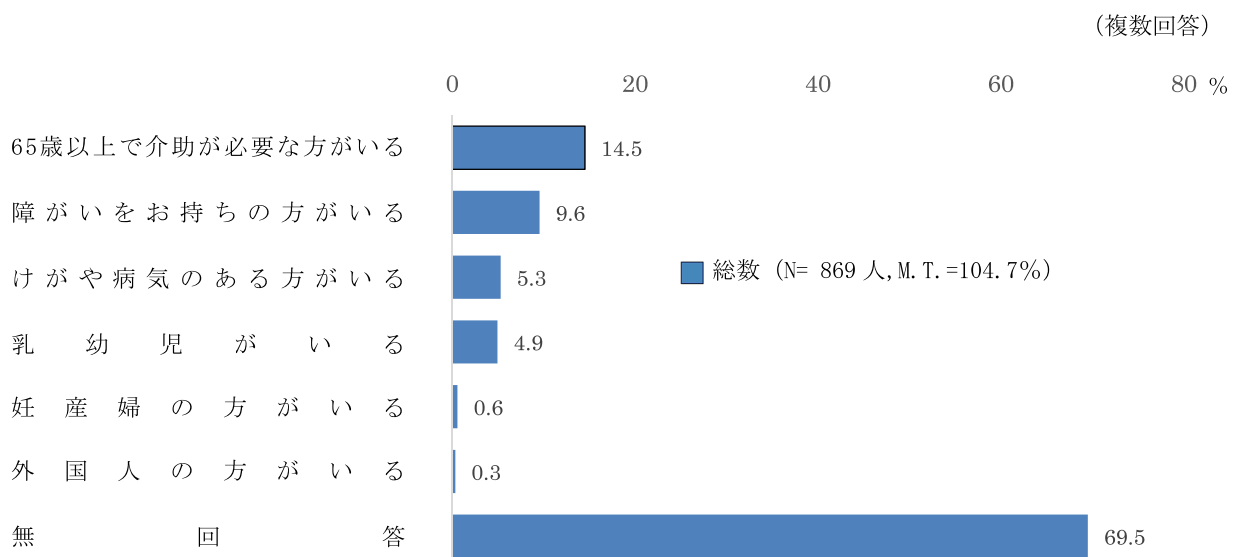
### (2) 年齢



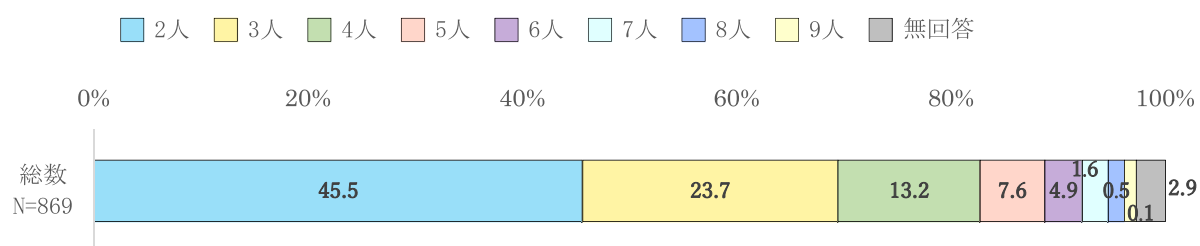
### (3) 世帯の状況 (ひとり暮らし・家族等と同居)



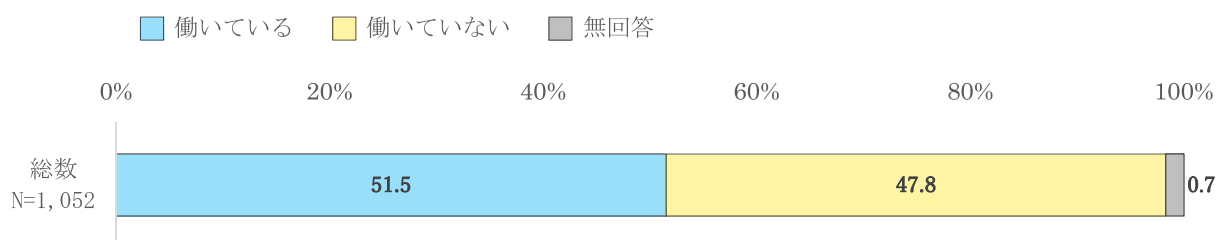
### (4) 世帯の状況 (同居者の属性)



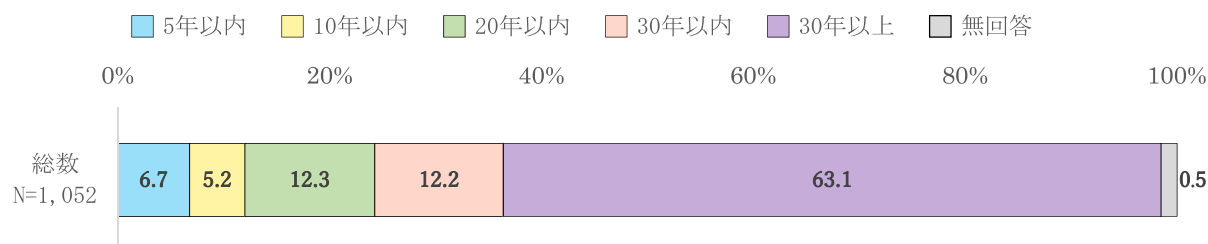
(5) 世帯の状況（同居者の人数（本人含む））



(6) 就労状況



(7) 現在の場所に住んでどれくらいか



## 第2部 調査の結果

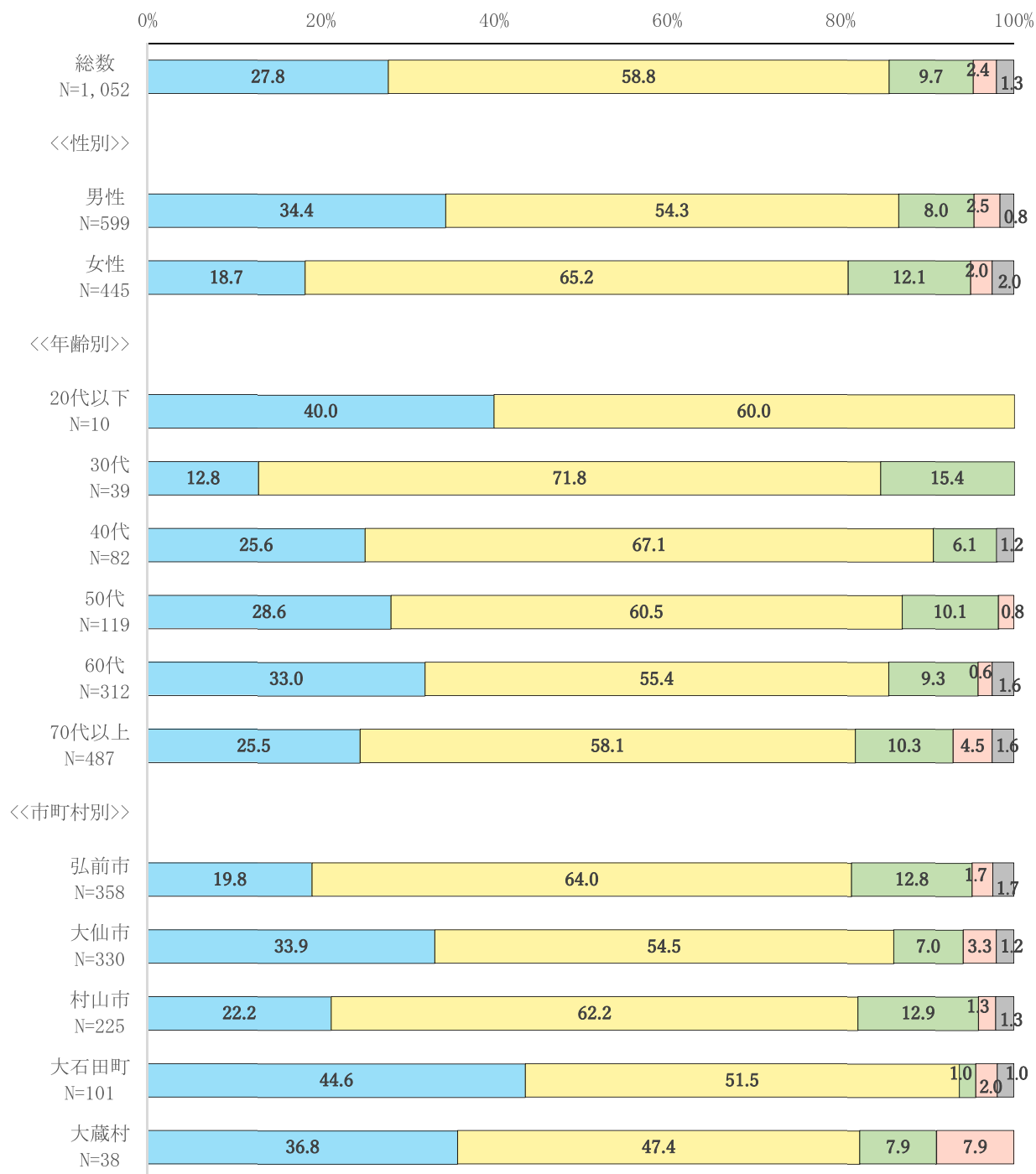
### 問 1-1. **全員の方がお答えください**

**お住まいの地域における大雨による河川のはん濫・浸水の可能性について、あなたのお考えをお答えください。  
次の選択肢から1つ選んでください。**

お住まいの地域における大雨による河川のはん濫・浸水の可能性について聞いたところ、「浸水するおそれのある地域であり、どのくらい浸水する可能性があるかなど、その危険性を十分理解していると思う。」が 27.8%、「浸水するおそれのある地域であることは知っているが、どのくらい浸水する可能性があるかなど、詳しいことはわからない。」が 58.8%、「浸水するおそれのある地域ではない。」が 9.7%、「地域の災害リスクについて認識(※)」が 2.4%となり、「浸水するおそれのある地域であることは知っているが、どのくらい浸水する可能性があるかなど、詳しいことはわからない。」が最も高かった。

図1 河川のはん濫・浸水の可能性についての考え

- 浸水するおそれのある地域であり、どのくらい浸水する可能性があるかなど、その危険性を十分理解していると思う
- 浸水するおそれのある地域であることは知っているが、どのくらい浸水する可能性があるかなど、詳しいことはわからない
- 浸水するおそれのある地域ではない
- 地域の災害リスクについて認識(※)
- 無回答



※ 「地域の災害リスクについて認識(※)」は問1選択肢に回答がなく、問1-2に回答があった方

**問 1-2. 問 1-1 で 1 又は 2 と回答した人**

問 1-1 で「1. 浸水するおそれのある地域であり、どのくらい浸水する可能性があるかなど、その危険性を十分理解していると思う。」又は「2. 浸水するおそれのある地域であることは知っているが、どのくらい浸水する可能性があるかなど、詳しいことはわからない。」と回答した人にお尋ねします。

あなたが水害の危険性があると思ったきっかけは何でしょうか、当てはまるものを選んでください。(当てはまるものが複数ある場合には、主なもの 3 つまで。)

問 1-1 で、「1. 浸水するおそれのある地域であり、どのくらい浸水する可能性があるかなど、その危険性を十分理解していると思う。」又は「2. 浸水するおそれのある地域であることは知っているが、どのくらい浸水する可能性があるかなど、詳しいことはわからない。」と回答した人 (936 人) に、水害の危険性があると思ったきっかけについて聞いたところ、「ハザードマップを見て、危険があることを知っていた。」が 49.3%、「実際に災害を経験したことがある (身近で災害が発生した)。」が 43.9%、「過去に災害があったことを聞いている。」が 35.6%、「河川や崖があるなどの周囲の様子 (地形) からそう思う。」が 33.0%、「テレビや新聞の報道による他の地域の災害の様子から、自分の周りでも今後発生しそうだと思った。」が 20.4%、などの順となっている。



図2 水害の危険性があると思ったきっかけ

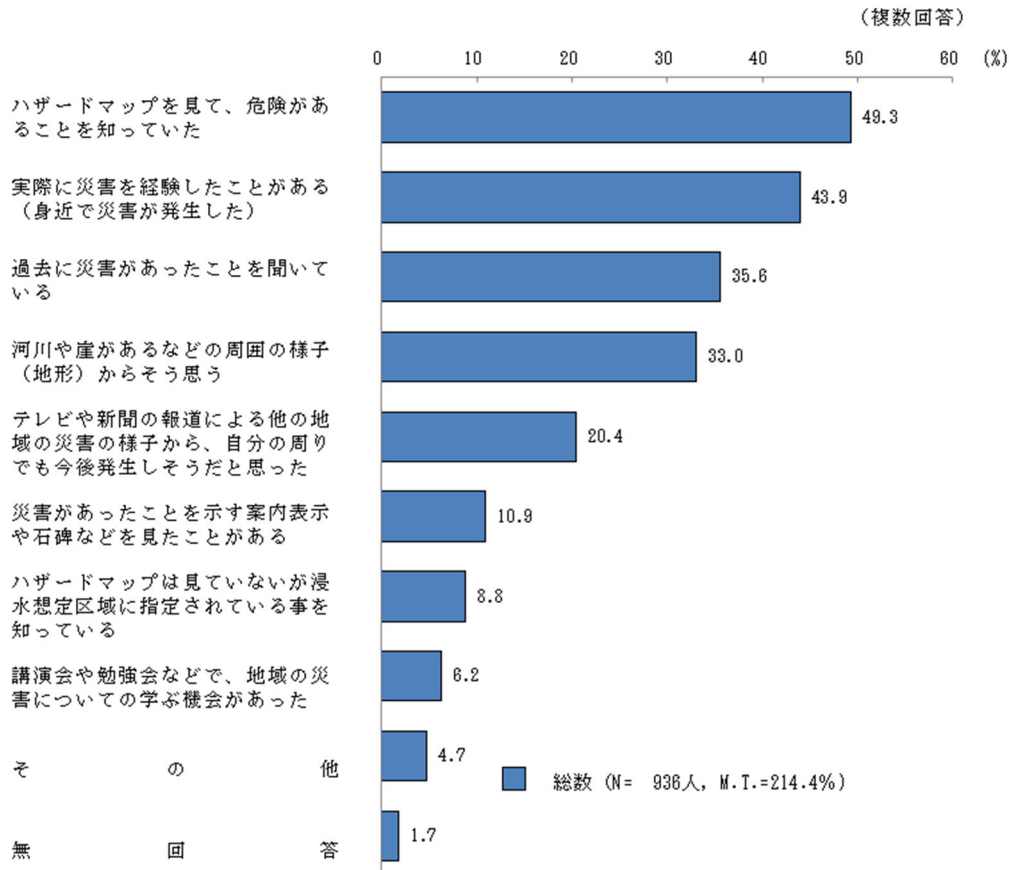


表1 水害の危険性があると思ったきっかけ (性、年齢、調査地域別)

(単位:人、%)

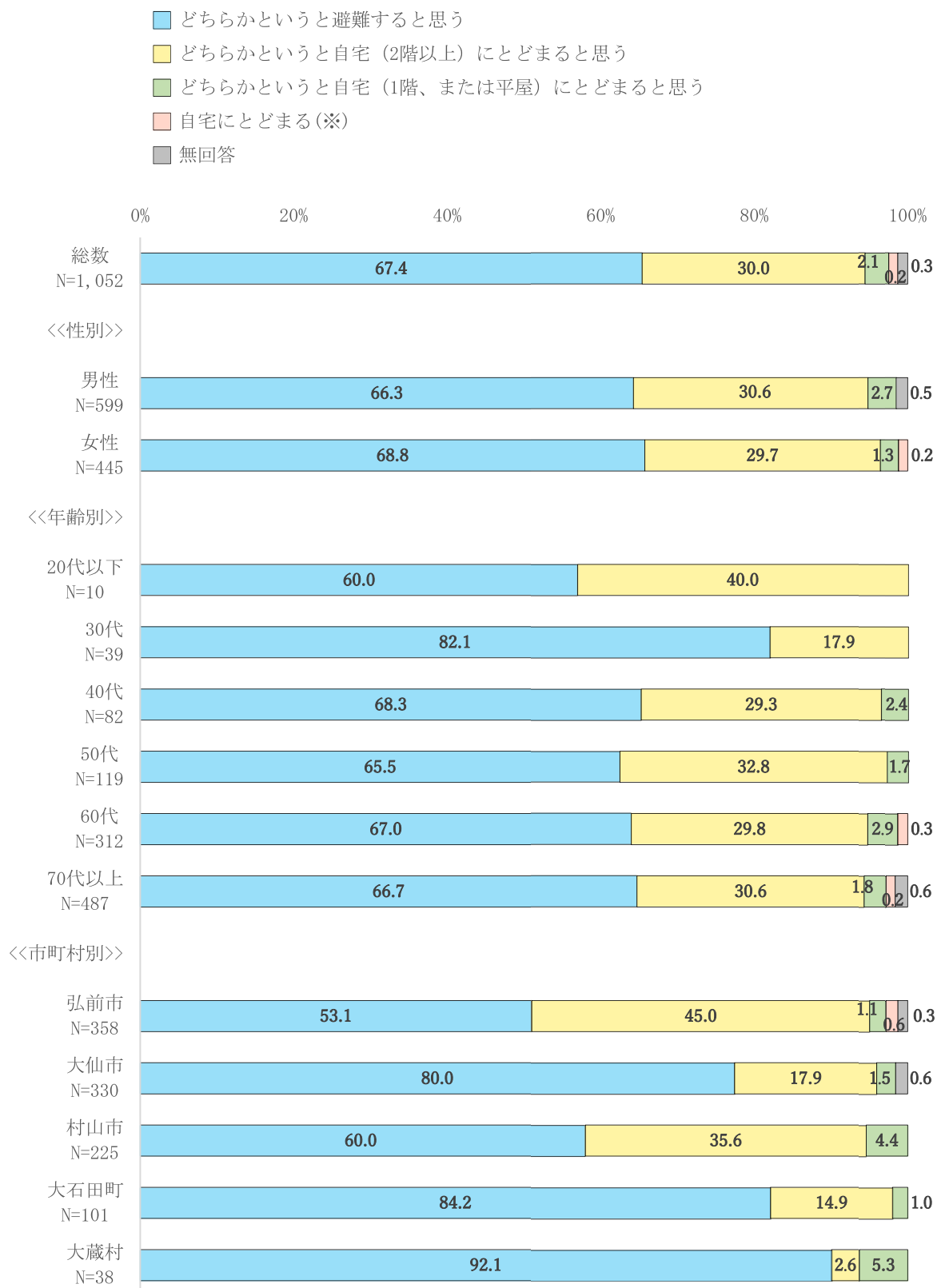
該当数	実際に災害を経験したことがある (身近で災害が発生した)	ハザードマップを見て、危険があることを知っていた	河川や崖があるなどの周囲の様子 (地形) からそう思う	ハザードマップは見えていないが浸水想定区域に指定されている事を知っている	過去に災害があったことを聞いている	災害があったことを示す案内表示や石碑などを見たことがある	講演会や勉強会などで、地域の災害についての学ぶ機会があった	テレビや新聞の報道による他の地域の災害の様子から、自分の周りでも今後発生しそうだと思った	その他	無回答	回答計	
総数	936	43.9	49.3	33.0	8.8	35.6	10.9	6.2	20.4	4.7	1.7	214.4
<<性別>>												
男性	546	47.4	52.4	31.9	9.0	35.7	13.0	7.1	18.1	4.4	2.2	221.2
女性	382	38.7	45.0	35.1	8.1	34.6	8.1	5.0	24.1	5.2	1.0	205.0
<<年齢別>>												
20代以下	10	60.0	60.0	20.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-	-	170.0
30代	33	36.4	45.5	33.3	6.1	30.3	6.1	-	15.2	3.0	12.1	187.9
40代	76	39.5	50.0	32.9	9.2	28.9	11.8	-	19.7	1.3	-	193.4
50代	107	44.9	48.6	34.6	8.4	36.4	14.0	4.7	12.1	2.8	3.7	210.3
60代	278	44.2	54.0	31.3	6.5	40.3	9.7	7.2	22.3	4.3	2.2	221.9
70代以上	429	44.5	46.4	34.0	10.3	34.5	11.4	7.7	21.9	6.3	0.5	217.5
<<調査地域-市町村別>>												
弘前市	306	12.1	70.6	32.4	8.5	13.1	1.3	5.2	29.7	4.2	1.3	178.4
大仙市	303	66.7	31.0	36.6	7.3	54.8	19.5	5.6	14.9	5.6	2.0	243.9
村山市	193	48.2	50.8	28.0	6.2	26.4	1.0	8.8	14.5	4.1	2.1	190.2
大石田町	99	55.6	41.4	32.3	18.2	56.6	31.3	3.0	19.2	6.1	2.0	265.7
大蔵村	35	68.6	34.3	37.1	11.4	57.1	17.1	14.3	22.9	-	-	262.9

**問 2. ここからは全員の方がお答えください**

**河川のはん濫など、災害の発生するおそれや不安を感じたとき、自宅から立ち退いて別の安全な場所に避難しようと思いませんか。(〇は1つ)**

河川のはん濫など、災害の発生するおそれや不安を感じたとき、自宅から立ち退いて別の安全な場所に避難しようと思うか聞いたところ、「どちらかという避難と思う。」が67.4%、「どちらかという自宅(2階以上)にとどまると思う。」が30.0%、「どちらかという自宅(1階、または平屋)にとどまると思う。」が2.1%、「自宅にとどまる(※)」が0.2%となり、「どちらかという避難と思う。」が最も高かった。

図3 自宅から別の安全な場所に避難しようと思うか



※「自宅にとどまる(※)」は問2選択肢に回答がなく、問5に回答があった方

**問 3-1. 問 2 で 1 と回答した人**

問 2 で、「1. どちらかというとは避難すると思う。」と回答した人にお尋ねします。どのようなきっかけで避難を開始しようと思っていますか。  
次の選択肢から 1 つまたは複数選んでください。(〇はいくつでも。)

問 2 で、「1. どちらかというとは避難すると思う。」と回答した人 (709 人) に、避難を開始しようと思うきっかけについて聞いたところ、「避難指示」が発令されたら (テレビやラジオ、防災無線など) が 54.6%、「警察や消防 (消防団) からの呼びかけがあったら」が 43.7%、「近くの河川に「はん濫警戒情報」が発表されたら (テレビやラジオ、防災無線など)」が 39.8%、「近くの河川に「はん濫危険情報」が発表されたら (テレビやラジオ、防災無線など)」が 36.2%、「高齢者等避難」が発令されたら (テレビやラジオ、防災無線など) が 28.2%、などの順となっている。

図4 避難を開始しようと思うきっかけ

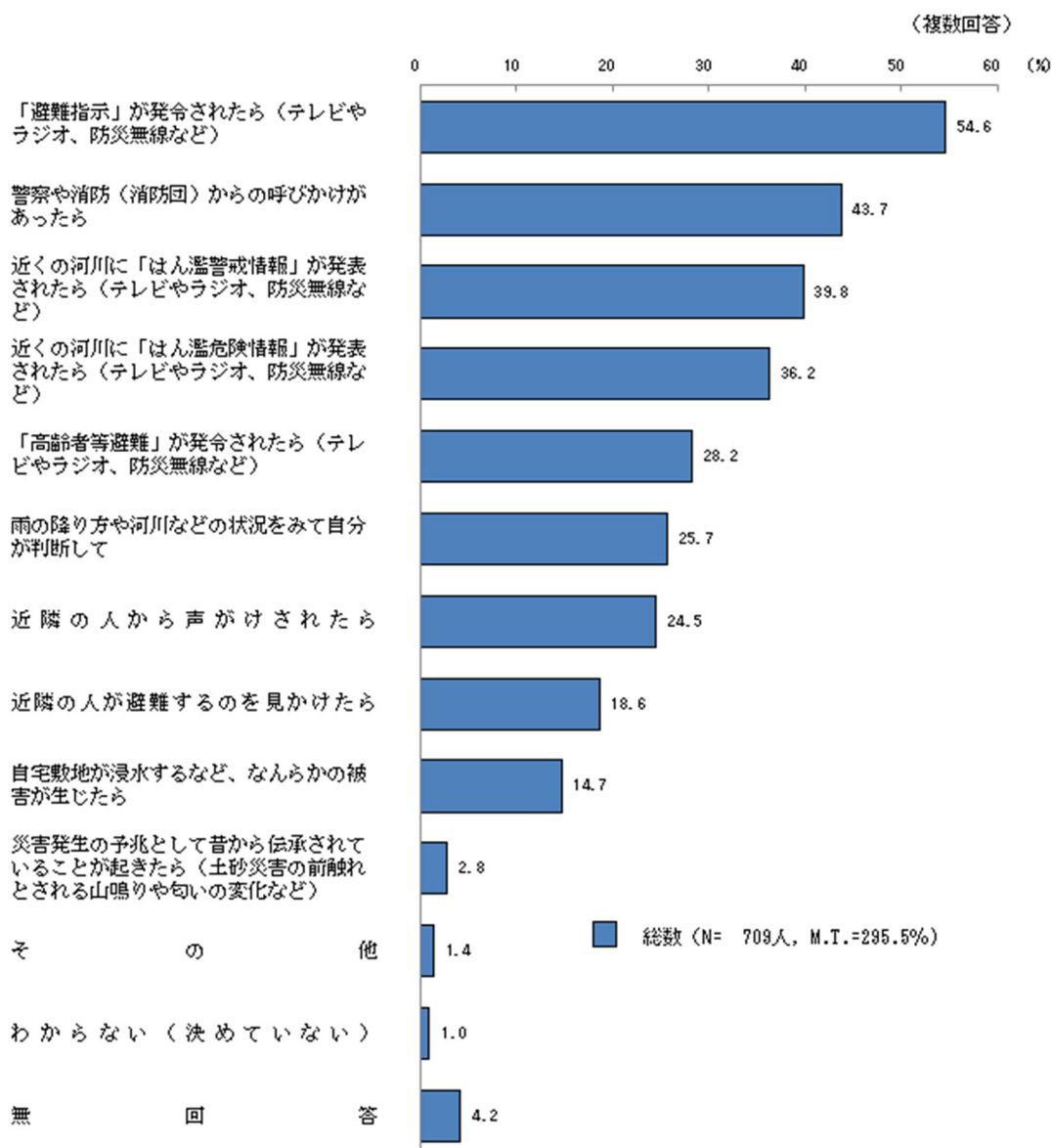


表2 避難を開始しようと思うきっかけ（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、％）

該当数	近くの河川に「はん濫警戒情報」が発表されたら（テレビやラジオ、防災無線など）	近くの河川に「はん濫危険情報」が発表されたら（テレビやラジオ、防災無線など）	「高齢者等避難」が発表されたら（テレビやラジオ、防災無線など）	「避難指示」が発令されたら（テレビやラジオ、防災無線など）	近隣の人から声がけされたら	近隣の人が見かけたら	雨の降り方や河川などの状況をみて自分が判断して	自宅敷地が浸水するなど、なんらかの被害が生じたら	警察や消防（消防団）からの呼びかけがあったら	災害発生の予兆として昔から伝承されていることが起きたら（土砂災害の前触れとされる山鳴りや匂いの変化など）	
総数	709	39.8	36.2	28.2	54.6	24.5	18.6	25.7	14.7	43.7	2.8
<<性別>>											
男性	397	39.3	39.0	30.2	55.9	21.9	15.4	28.0	15.1	44.6	2.8
女性	306	40.5	33.0	25.5	52.3	28.4	22.5	23.2	14.1	42.8	2.9
<<年齢別>>											
20代以下	6	33.3	16.7	-	33.3	16.7	33.3	-	-	50.0	-
30代	32	28.1	25.0	9.4	68.8	15.6	21.9	31.3	9.4	31.3	3.1
40代	56	28.6	30.4	12.5	66.1	25.0	30.4	28.6	14.3	28.6	-
50代	78	43.6	39.7	19.2	64.1	17.9	14.1	28.2	19.2	52.6	3.8
60代	209	42.1	35.9	27.8	56.0	29.2	20.6	24.9	18.2	46.9	3.8
70代以上	325	40.6	38.5	36.0	48.6	24.3	15.4	24.9	12.3	43.4	2.5
<<調査地域-市町村別>>											
弘前市	190	42.6	42.1	33.2	54.7	21.6	21.6	16.3	12.6	46.8	1.6
大仙市	264	39.8	35.6	27.7	53.4	27.3	15.9	33.0	17.4	48.9	4.5
村山市	135	29.6	32.6	18.5	46.7	27.4	21.5	27.4	19.3	40.0	-
大石田町	85	45.9	32.9	28.2	65.9	18.8	16.5	23.5	5.9	29.4	3.5
大蔵村	35	48.6	31.4	42.9	65.7	22.9	17.1	20.0	8.6	37.1	5.7
該当数	その他	わからない（決まていない）	無回答	回答計							
総数	709	1.4	1.0	4.2	295.5						
<<性別>>											
男性	397	1.5	0.5	3.3	297.5						
女性	306	1.3	1.6	5.6	293.8						
<<年齢別>>											
20代以下	6	-	-	-	183.3						
30代	32	-	-	6.3	250.0						
40代	56	1.8	-	3.6	269.6						
50代	78	-	-	1.3	303.8						
60代	209	3.3	1.0	1.9	311.5						
70代以上	325	0.6	1.5	6.5	295.1						
<<調査地域-市町村別>>											
弘前市	190	0.5	1.6	4.2	299.5						
大仙市	264	1.9	0.8	3.8	309.8						
村山市	135	0.7	0.7	8.1	272.6						
大石田町	85	3.5	1.2	1.2	276.5						
大蔵村	35	-	-	-	300.0						

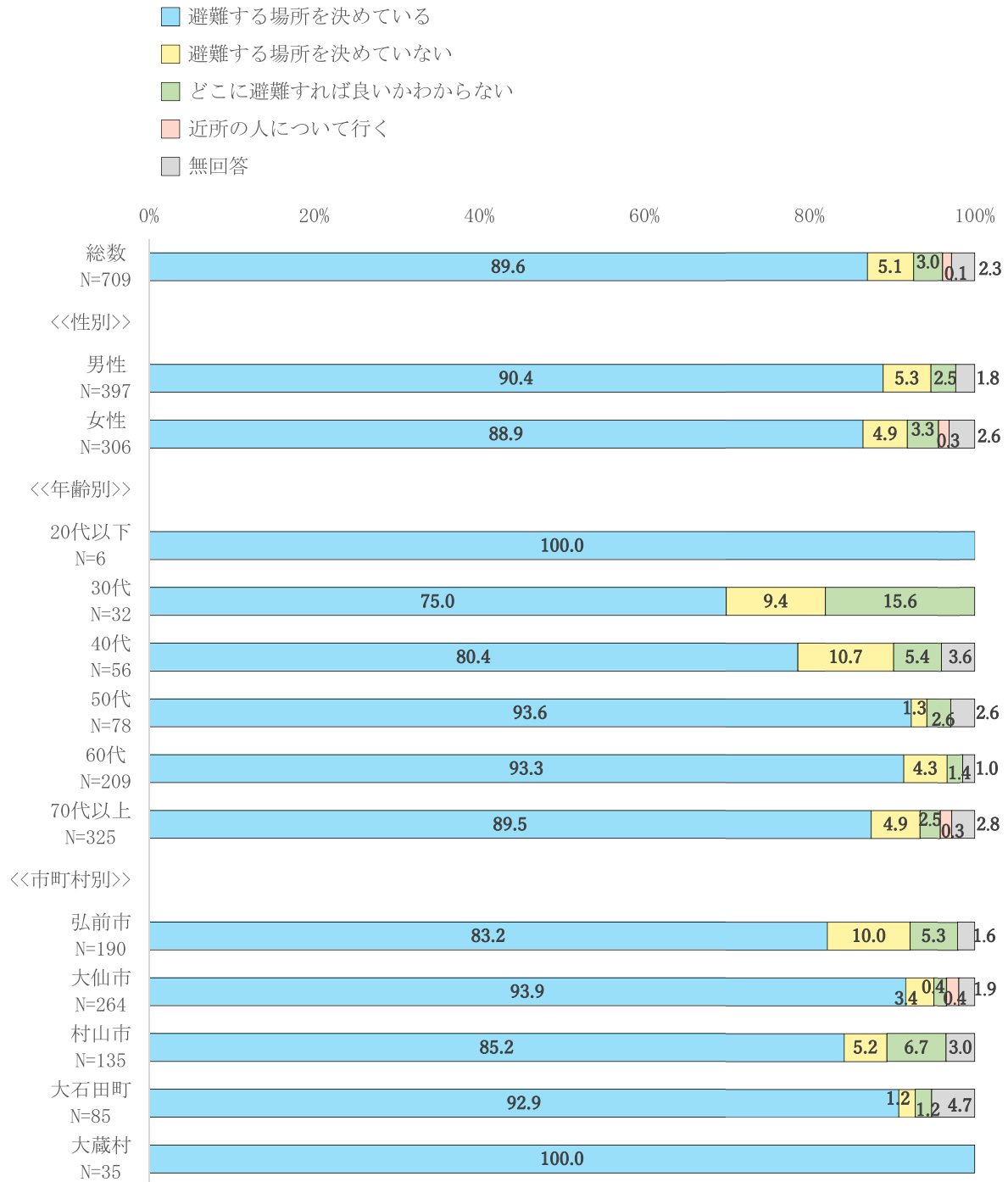
**問 3-2. 問 2 で 1 と回答した人**

問 2 で、「1. どちらかというとは避難すると思う。」と回答した人にお尋ねします。

具体的には、どのような場所に避難しようと思いますか。(○は1つ)

問 2 で、「1. どちらかというとは避難すると思う。」と回答した人 (709 人) に、具体的には、どのような場所に避難しようと思うかについて聞いたところ、「避難する場所を決めている。」が 89.6%、「避難する場所を決めていない。」が 5.1%、「どこに避難すれば良いかわからない。」が 3.0%、「近所の人について行く。」が 0.1%となり、「避難する場所を決めている。」が最も高かった。

図5 避難しようと思う場所を決めているか

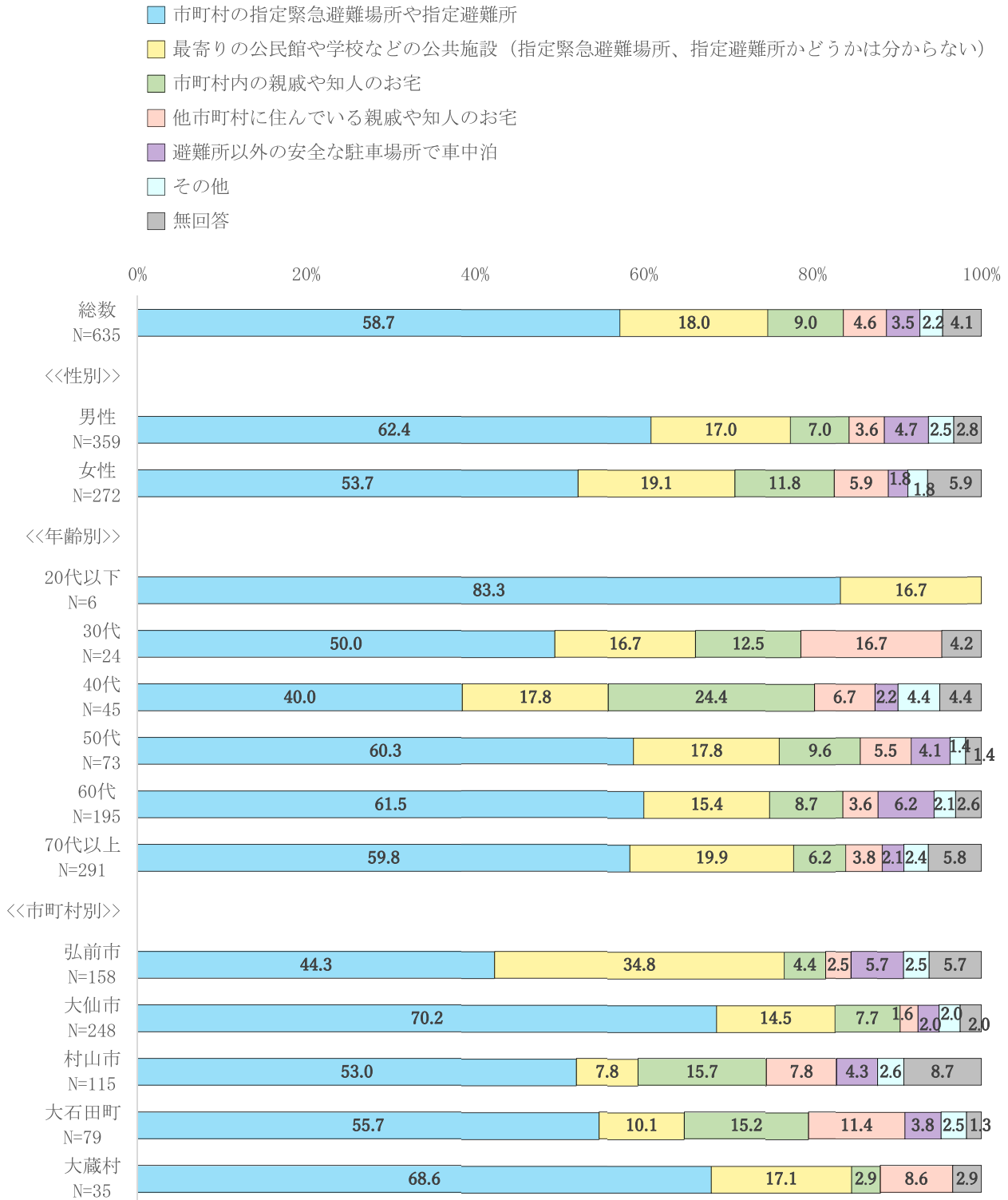




**問 3-2 選択肢 1. 避難する場所((1)～(6)から1つお選びください。)**

問 3-2 で、「避難する場所を決めている。」と回答した人 (635 人) に、避難する場所について聞いたところ、「市町村の指定緊急避難場所や指定避難所」が 58.7%、「最寄りの公民館や学校などの公共施設 (指定緊急避難場所、指定避難所かどうかは分からない)」が 18.0%、「市町村内の親戚や知人のお宅」が 9.0%、「他市町村に住んでいる親戚や知人のお宅」が 4.6%、「避難所以外の安全な駐車場所で車中泊」が 3.5%となり、「市町村の指定緊急避難場所や指定避難所」が最も高かった。

図6 避難する場所



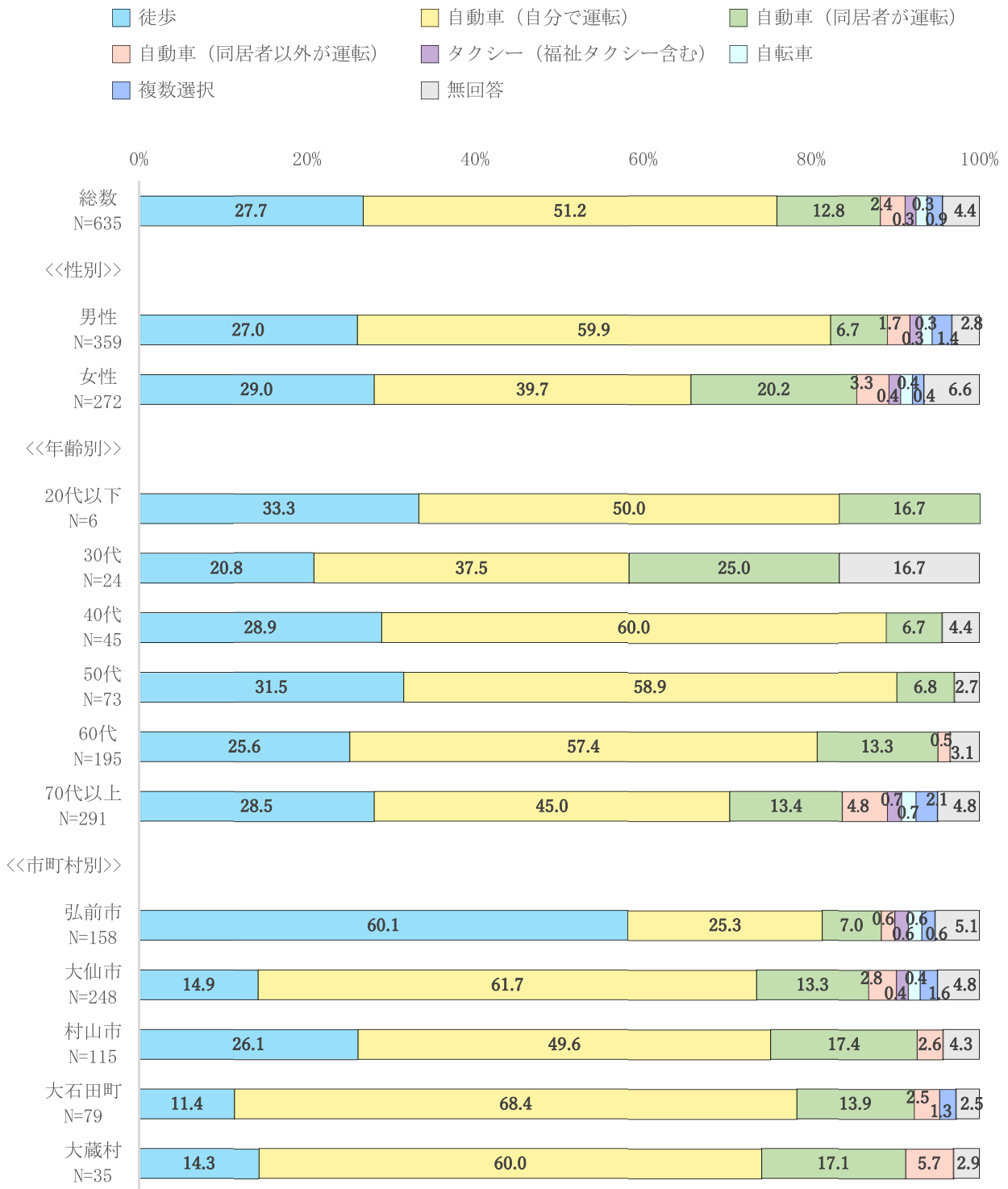
**問 3-3. 問 2 で 1 を、問 3-2 で 1 と回答した人**

問 3-2 で、「1. 避難する場所を決めている。」と回答した人にお尋ねします。  
あなたの思う避難場所まで、どのような移動手段を用い、どのくらいの時間で到着できると思いますか。(〇は 1 つ)

**■ 1. 移動手段について**

問 3-2 で、「避難する場所を決めている。」と回答した人 (635 人) に、避難場所までの移動手段について聞いたところ、「徒歩」が 27.7%、「自動車 (自分で運転)」が 51.2%、「自動車 (同居者が運転)」が 12.8%、「自動車 (同居者以外が運転)」が 2.4%、「自転車」が 0.3%、「複数選択」が 0.9%となり、「自動車 (自分で運転)」が最も高かった。

図7 避難場所までの移動手段



問 3-3. **問 2 で 1 を、問 3-2 で 1 と回答した人**

問 3-2 で、「1. 避難する場所を決めている。」と回答した人にお尋ねします。  
あなたの思う避難場所まで、どのような移動手段を用い、どのくらいの時間で到着できると思いますか。(○は 1 つ)

■2. 移動時間について

問 3-2 で、「避難する場所を決めている。」と回答した人 (635 人) に、避難場所までの移動時間について聞いたところ、「1~4 分」が 11.3%、「5~9 分」が 35.9%、「10~14 分」が 25.0%、「15~19 分」が 7.6%、「20~24 分」が 6.6%、「25~29 分」が 0.5%、「30 分以上」が 4.1%となり、「5~9 分」が最も高かった。

図8 避難場所までの移動時間



**問 4-1. 問 2 で 1 と回答した人**

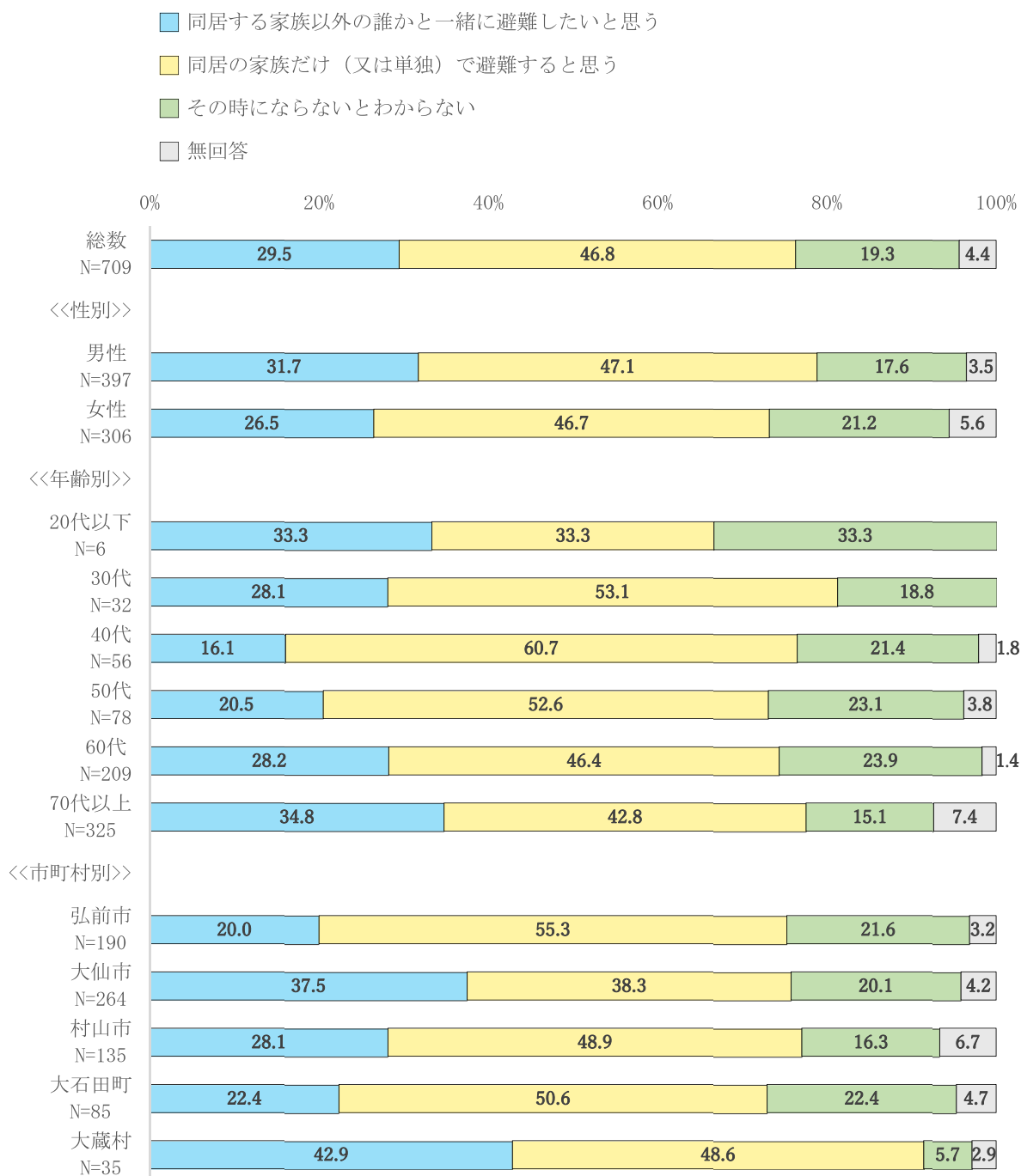
問 2 で、「1. どちらかというとは避難すると思う。」と回答した人にお尋ねします。

あなたが避難しようとするとき、同居する家族以外の人で、誰かと一緒に避難しようと思いますか。

次の選択肢から 1 つ選んでください。(○は 1 つ)

問 2 で、「1. どちらかというとは避難すると思う。」と回答した人 (709 人) に、同居する家族以外の人との避難について聞いたところ、「同居する家族以外の人と一緒に避難したいと思う。」が 29.5%、「同居の家族だけ (又は単独) で避難すると思う。」が 46.8%、「その時にならないとわからない。」が 19.3%となり、「同居の家族だけ (又は単独) で避難すると思う。」が最も高かった。

図9 同居する家族以外の人との避難





問 4-1 選択肢 1. 「同居する家族以外の誰かと一緒に避難したいと思う。」と回答した人にお尋ねします。  
それは誰ですか。

問 4-1 で、「1. 同居する家族以外の誰かと一緒に避難したいと思う。」と回答した人（209人）に、一緒に避難したいと思う相手について聞いたところ、「近所の人」が73.7%、「家族以外の親戚」が18.2%、「町内会役員」が1.9%、「民生委員」が1.4%、などの順となっている。

図 10 一緒に避難したいと思う相手

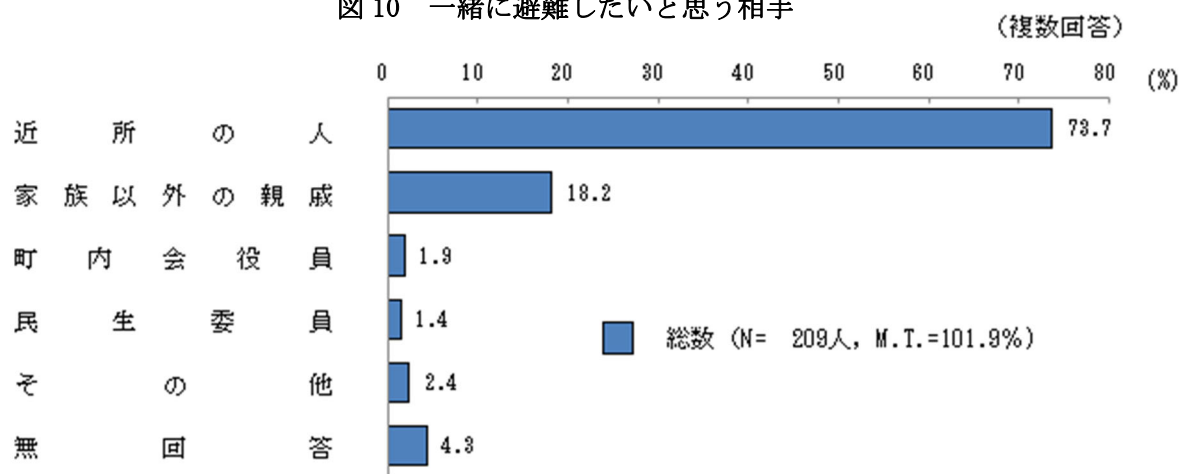


表 3 一緒に避難したいと思う相手（性、年齢、調査地域別）

(単位：人、%)

	該当数	家族以外の親戚	近所の人	町内会役員	民生委員	その他	無回答	回答計
総数	209	18.2	73.7	1.9	1.4	2.4	4.3	101.9
<<性別>>								
男性	126	15.9	80.2	0.8	0.8	0.8	2.4	100.8
女性	81	22.2	64.2	3.7	2.5	4.9	6.2	103.7
<<年齢別>>								
20代以下	2	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0
30代	9	44.4	55.6	-	-	-	-	100.0
40代	9	33.3	33.3	-	-	22.2	11.1	100.0
50代	16	18.8	75.0	-	-	-	6.3	100.0
60代	59	22.0	76.3	-	-	3.4	-	101.7
70代以上	113	12.4	77.9	3.5	2.7	0.9	5.3	102.7
<<調査地域-市町村別>>								
弘前市	38	21.1	71.1	-	-	5.3	5.3	102.6
大仙市	99	20.2	73.7	2.0	3.0	1.0	3.0	103.0
村山市	38	7.9	73.7	5.3	-	5.3	7.9	100.0
大石田町	19	31.6	68.4	-	-	-	-	100.0
大蔵村	15	6.7	86.7	-	-	-	6.7	100.0

**問 4-2. 問 2 で 1 を、問 4-1 で 1 と回答した人**

問 4-1 で、「1. 同居する家族以外の誰かと一緒に避難したいと思う。」と回答した人にお尋ねします。

あなたがそう思っている理由について、当てはまるものを次の選択肢から選んでください。(〇はいくつでも)

問 4-1 で、「1. 同居する家族以外の誰かと一緒に避難したいと思う。」と回答した人 (209 人) に一緒に避難したいと思う理由について聞いたところ、「あなたや家族が「その人」に声を掛けて一緒に避難しようと思うから」が 50.7%、「「その人」が声を掛けて一緒に避難してくれると思うから」が 34.4%、「自分や家族だけでは不安なので、誰かと一緒に避難したいと思うから」が 20.6%、「あなたや家族が「その人」の避難を手助けすることになっているから」が 10.5%、「「その人」が避難を手助けしてくれることになっているから」が 9.6%、などの順となっている。

図 11 一緒に避難したいと思う理由

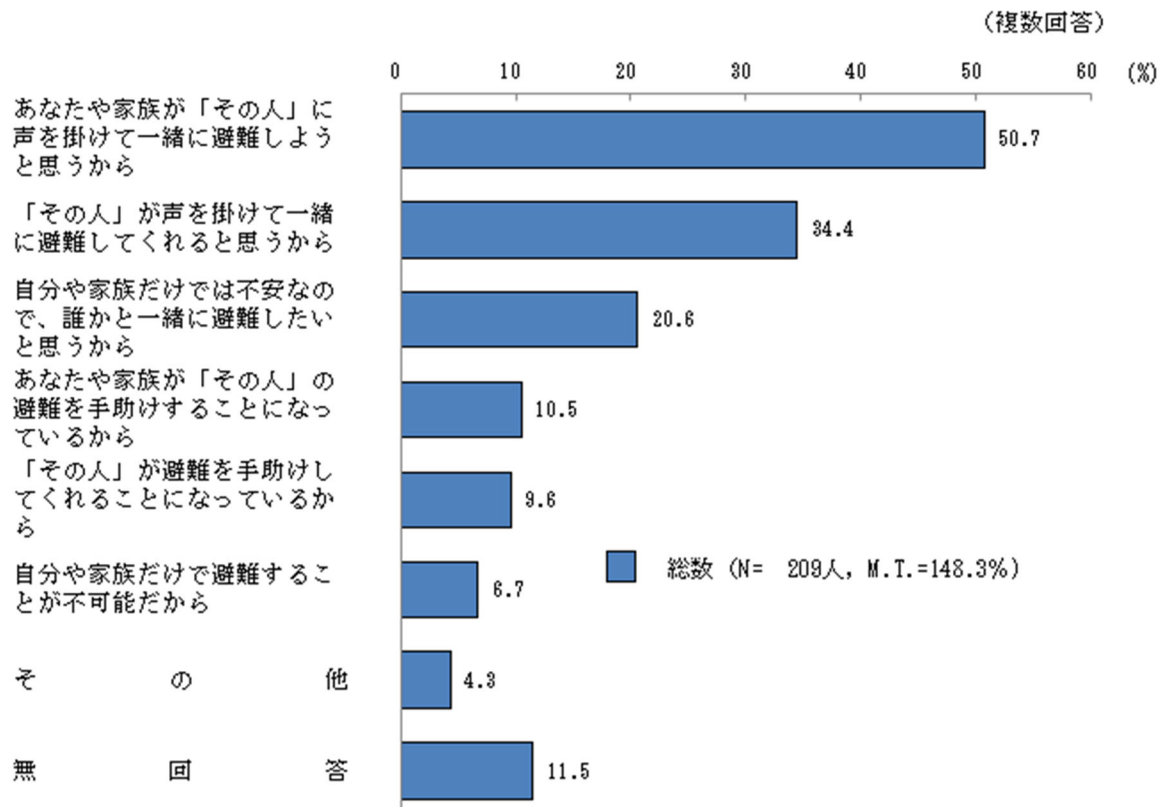


表4 一緒に避難したいと思う理由（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、％）

該当数	「その人」が声を掛けて一緒に避難してくれると思うから	「その人」が避難を手助けしてくれることになっているから	自分や家族だけで避難することが不可能だから	自分や家族だけでは不安なので、誰かと一緒に避難したいと思うから	あなたや家族が「その人」に声を掛けて一緒に避難しようと思うから	あなたや家族が「その人」の避難を手助けしているから	その他	無回答	回答計	
総数	209	34.4	9.6	6.7	20.6	50.7	10.5	4.3	11.5	148.3
<<性別>>										
男性	126	39.7	9.5	7.1	16.7	57.1	12.7	3.2	10.3	156.3
女性	81	24.7	8.6	6.2	25.9	42.0	7.4	6.2	13.6	134.6
<<年齢別>>										
20代以下	2	-	50.0	-	-	100.0	50.0	-	-	200.0
30代	9	11.1	11.1	-	55.6	33.3	-	-	11.1	122.2
40代	9	22.2	-	-	22.2	66.7	22.2	-	-	133.3
50代	16	25.0	6.3	6.3	18.8	50.0	25.0	-	12.5	143.8
60代	59	35.6	3.4	3.4	15.3	62.7	5.1	8.5	11.9	145.8
70代以上	113	38.1	13.3	9.7	20.4	44.2	10.6	3.5	12.4	152.2
<<調査地域-市町村別>>										
弘前市	38	36.8	2.6	5.3	18.4	52.6	5.3	13.2	10.5	144.7
大仙市	99	36.4	13.1	10.1	16.2	59.6	15.2	2.0	6.1	158.6
村山市	38	21.1	5.3	2.6	39.5	28.9	5.3	-	21.1	123.7
大石田町	19	42.1	15.8	5.3	21.1	47.4	10.5	10.5	21.1	173.7
大蔵村	15	40.0	6.7	-	6.7	46.7	6.7	-	13.3	120.0

**問5. 問2で2もしくは3と回答した人**

問2で、「2. どちらかという自宅（2階以上）にとどまると思う。」又は「3. どちらかという自宅（1階、または平屋）にとどまると思う。」と回答した人にお尋ねします。

その理由として当てはまるもの（3つまで）を、次の選択肢から選んでください。

問2で、「2. どちらかという自宅（2階以上）にとどまると思う。」又は「3. どちらかという自宅（1階、または平屋）にとどまると思う。」と回答した人（338人）に、自宅にとどまると思う理由について聞いたところ、「これまで自宅が被害を受けたことがないから（自宅は安全だと思う）」が53.8%、「自宅以外の場所には行きたくないから」が33.1%、「自宅にとどまらなければならない理由があるから」が28.7%、「家を立ち退いて移動する方が危険だと思うから」が28.1%、「他人に迷惑を掛けたくないから」が10.9%、などの順となっている。

図12 自宅にとどまると思う理由

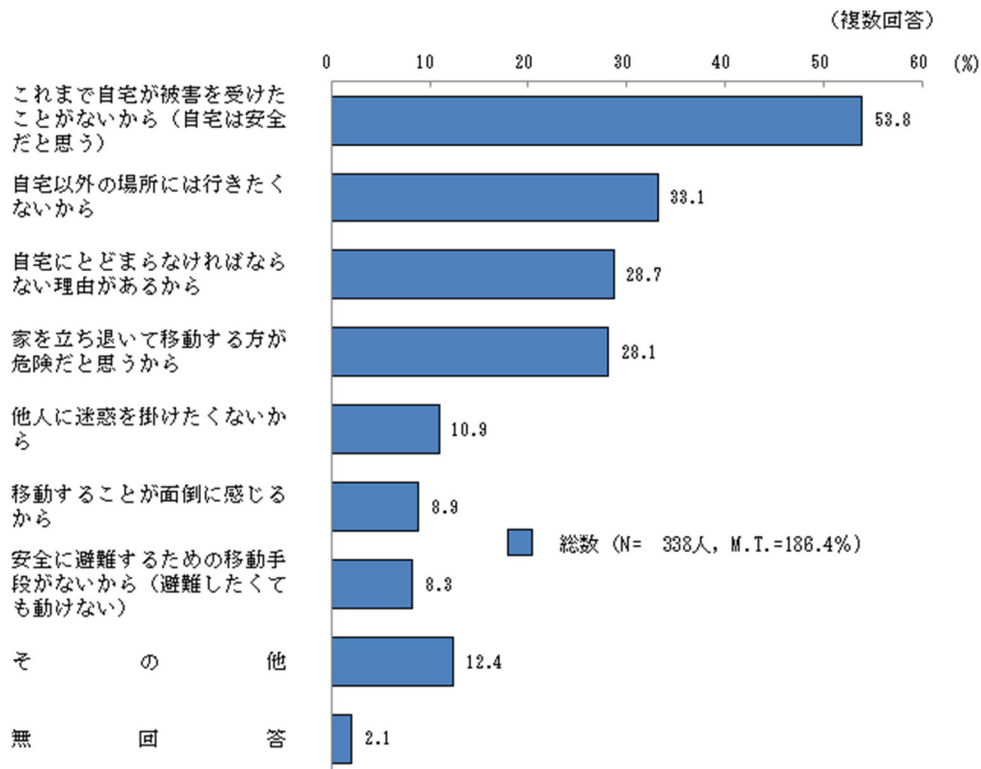


表5 自宅にとどまると思う理由（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、％）

	該当数	これまで 自宅が被 害を受け たことが ないから （自宅は 安全だと思 う）	自宅にと どまらな ければ不 理がある から	安全に避 難するた めの移動 手段がな いから （避難し たくても 動けな い）	自宅以外 の場所に は行きた くないか ら	家を立ち 退いて移 動する方 が危険だ と思うか ら	他人に迷 惑を掛け たくない から	移動する ことが面 倒に感じ るから	その他	無回答	回答計
総数	338	53.8	28.7	8.3	33.1	28.1	10.9	8.9	12.4	2.1	186.4
<<性別>>											
男性	199	60.3	24.6	6.5	28.6	32.7	8.0	10.1	14.1	1.0	185.9
女性	138	44.2	34.8	10.9	39.1	21.7	15.2	7.2	10.1	3.6	187.0
<<年齢別>>											
20代以下	4	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	150.0
30代	7	28.6	28.6	-	42.9	-	-	28.6	14.3	-	142.9
40代	26	61.5	30.8	7.7	38.5	19.2	-	23.1	23.1	-	203.8
50代	41	51.2	24.4	4.9	46.3	17.1	17.1	9.8	9.8	-	180.5
60代	102	59.8	21.6	2.9	31.4	34.3	6.9	4.9	14.7	1.0	177.5
70代以上	158	50.6	33.5	13.3	29.1	30.4	14.6	8.2	10.1	3.8	193.7
<<調査地域-市町村別>>											
弘前市	165	57.6	21.8	7.9	30.3	36.4	7.9	6.1	14.5	2.4	184.8
大仙市	64	42.2	32.8	10.9	32.8	28.1	17.2	4.7	9.4	3.1	181.3
村山市	90	58.9	35.6	7.8	42.2	17.8	13.3	13.3	8.9	1.1	198.9
大石田町	16	31.3	43.8	6.3	18.8	6.3	6.3	31.3	18.8	-	162.5
大蔵村	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	133.3

## 問5 選択肢2. 自宅にとどまらなければならない理由（複数回答）

問5で、「2. 自宅にとどまらなければならない理由があるから」と回答した人（97人）に、自宅にとどまらなければならない理由について聞いたところ、「自分又は家族に体が不自由で避難が困難な人がいるから」が43.3%、「ペットがいるから」が28.9%、「乳幼児や子どもなど安全に避難できるか心配な人がいるから」が6.2%、「医療用器具など、日常生活に欠かせないものがあるから」が3.1%、「家畜や田畑など生活に重要な財産が心配だから」が1.0%、などの順となっている。

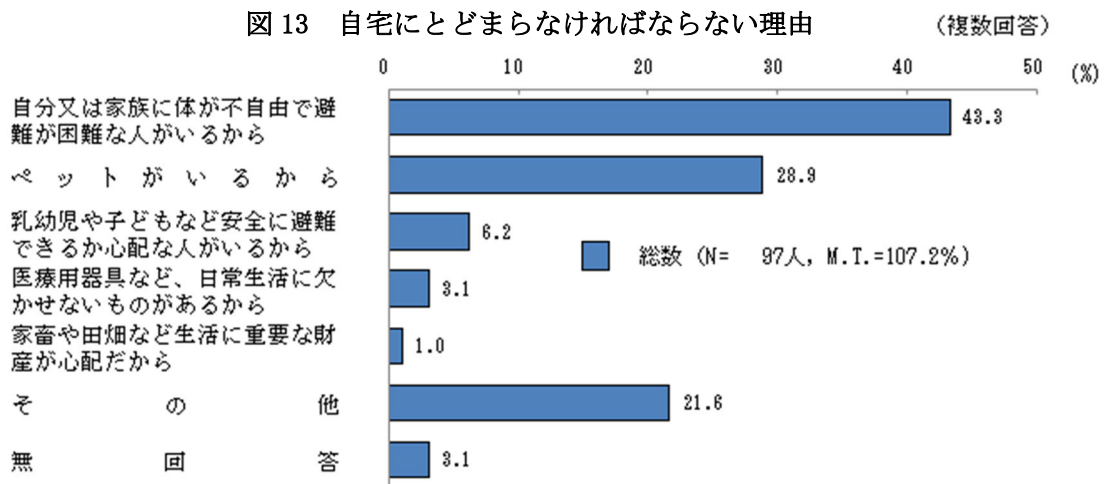


表6 自宅にとどまらなければならない理由（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、%）

	該当数	自分又は家族に体が不自由で避難が困難な人がいるから	乳幼児や子どもなど安全に避難できるか心配な人がいるから	医療用器具など、日常生活に欠かせないものがあるから	家畜や田畑など生活に重要な財産が心配だから	ペットがいるから	その他	無回答	回答計
総数	97	43.3	6.2	3.1	1.0	28.9	21.6	3.1	107.2
<<性別>>									
男性	49	46.9	4.1	4.1	2.0	28.6	26.5	-	112.2
女性	48	39.6	8.3	2.1	-	29.2	16.7	6.3	102.1
<<年齢別>>									
20代以下	2	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0
30代	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	100.0
40代	8	25.0	25.0	-	-	37.5	-	12.5	100.0
50代	10	40.0	-	10.0	-	30.0	10.0	10.0	100.0
60代	22	31.8	-	4.5	0.0	45.5	27.3	-	109.1
70代以上	53	52.8	1.9	1.9	1.9	22.6	26.4	1.9	109.4
<<調査地域-市町村別>>									
弘前市	36	47.2	2.8	2.8	-	22.2	30.6	-	105.6
大仙市	21	47.6	-	-	-	33.3	19.0	9.5	109.5
村山市	32	34.4	15.6	3.1	3.1	34.4	15.6	3.1	109.4
大石田町	7	57.1	-	14.3	-	28.6	-	-	100.0
大蔵村	1	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0

**問5 選択肢 4. 自宅以外の場所には行きたくない理由（複数回答）**

問5で、「4. 自宅以外の場所には行きたくないから」と回答した人（112人）に、自宅以外の場所には行きたくない理由について聞いたところ、「プラバイシーが保てないことが心配だから」が47.3%、「新型コロナウイルスやインフルエンザへの感染が心配だから」が30.4%、などの順となっている。

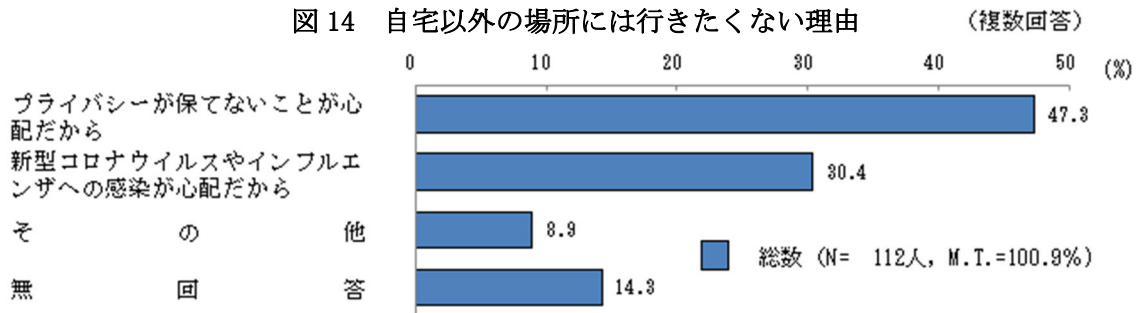


表7 自宅以外の場所には行きたくない理由（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、%）

	該当数	新型コロナウイルスやインフルエンザへの感染が心配だから	プラバイシーが保てないことが心配だから	その他	無回答	回答計
総数	112	30.4	47.3	8.9	14.3	100.9
<<性別>>						
男性	57	33.3	42.1	10.5	14.0	100.0
女性	54	27.8	53.7	7.4	13.0	101.9
<<年齢別>>						
20代以下	2	50.0	100.0	-	-	150.0
30代	3	-	66.7	-	33.3	100.0
40代	10	10.0	80.0	-	10.0	100.0
50代	19	42.1	31.6	10.5	15.8	100.0
60代	32	28.1	53.1	-	18.8	100.0
70代以上	46	32.6	39.1	17.4	10.9	100.0
<<調査地域-市町村別>>						
弘前市	50	30.0	42.0	10.0	18.0	100.0
大仙市	21	28.6	52.4	4.8	14.3	100.0
村山市	38	28.9	52.6	10.5	10.5	102.6
大石田町	3	66.7	33.3	-	-	100.0
大蔵村	-	-	-	-	-	-

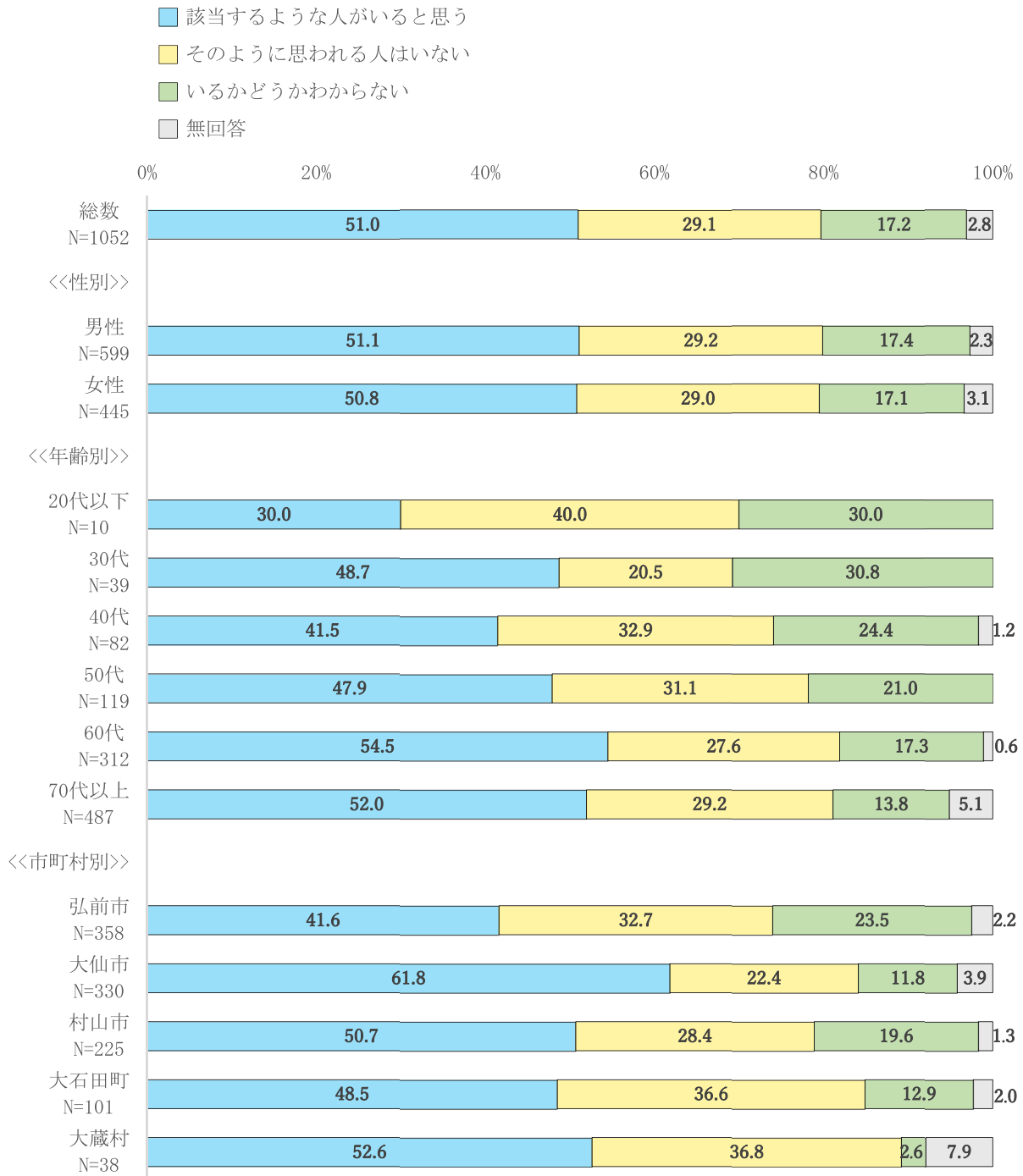
**問 6-1. ここからは全員の方がお答えください**

高齢や体が不自由などの理由で災害時に一人で避難することが難しいと  
思っている人がいます。同居しているご家族以外で、あなたのご近所に、こ  
のような人がいると思いますか。(○は1つ)

同居しているご家族以外で、近所に、高齢や体が不自由などの理由で災害時に一人で避難  
することが難しい人がいると思うかについて聞いたところ、「該当するような人がいると思  
う。」が 51.0%、「そのように思われる人はいない。」が 29.1%、「いるかどうかわからない。」  
が 17.2%となり、「該当するような人がいると思う。」が最も高かった。



図 15 災害時に一人で避難することが難しい人が近所にいるか



**問 6-1 選択肢 1. 該当するような人がいると思う。それはどのような人ですか。**

問 6-1 で、「1. 該当するような人がいると思う。」と回答した人（536 人）に、それほどのような人かについて聞いたところ、「一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯」が 84.5%、「体が不自由な方（視覚・聴覚障がいの方なども含みます）」が 14.0%、「妊産婦」が 0.2%、などの順となっている。

図 16 災害時に一人で避難することが難しい人（複数回答）

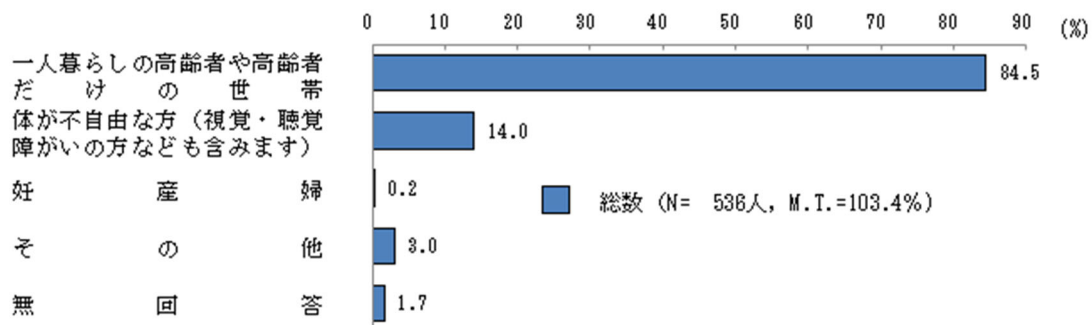


表 8 災害時に一人で避難することが難しい人（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、%）

	該当数	一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯	体が不自由な方（視覚・聴覚障がいの方なども含みます）	妊産婦	その他	無回答	回答計
総数	536	84.5	14.0	0.2	3.0	1.7	103.4
<<性別>>							
男性	306	82.4	13.7	-	3.9	1.6	101.6
女性	226	87.6	14.6	0.4	1.8	1.3	105.8
<<年齢別>>							
20代以下	3	33.3	33.3	-	33.3	-	100.0
30代	19	84.2	21.1	-	-	-	105.3
40代	34	94.1	8.8	-	2.9	-	105.9
50代	57	77.2	24.6	-	3.5	1.8	107.0
60代	170	89.4	5.9	0.6	3.5	2.4	101.8
70代以上	253	82.2	17.0	-	2.4	1.6	103.2
<<調査地域-市町村別>>							
弘前市	149	81.9	19.5	0.7	3.4	1.3	106.7
大仙市	204	88.7	9.3	-	1.5	2.5	102.0
村山市	114	79.8	17.5	-	5.3	-	102.6
大石田町	49	81.6	14.3	-	4.1	2.0	102.0
大蔵村	20	95.0	-	-	-	5.0	100.0

**問 6-2. 問 6-1 で 1 と回答した人**

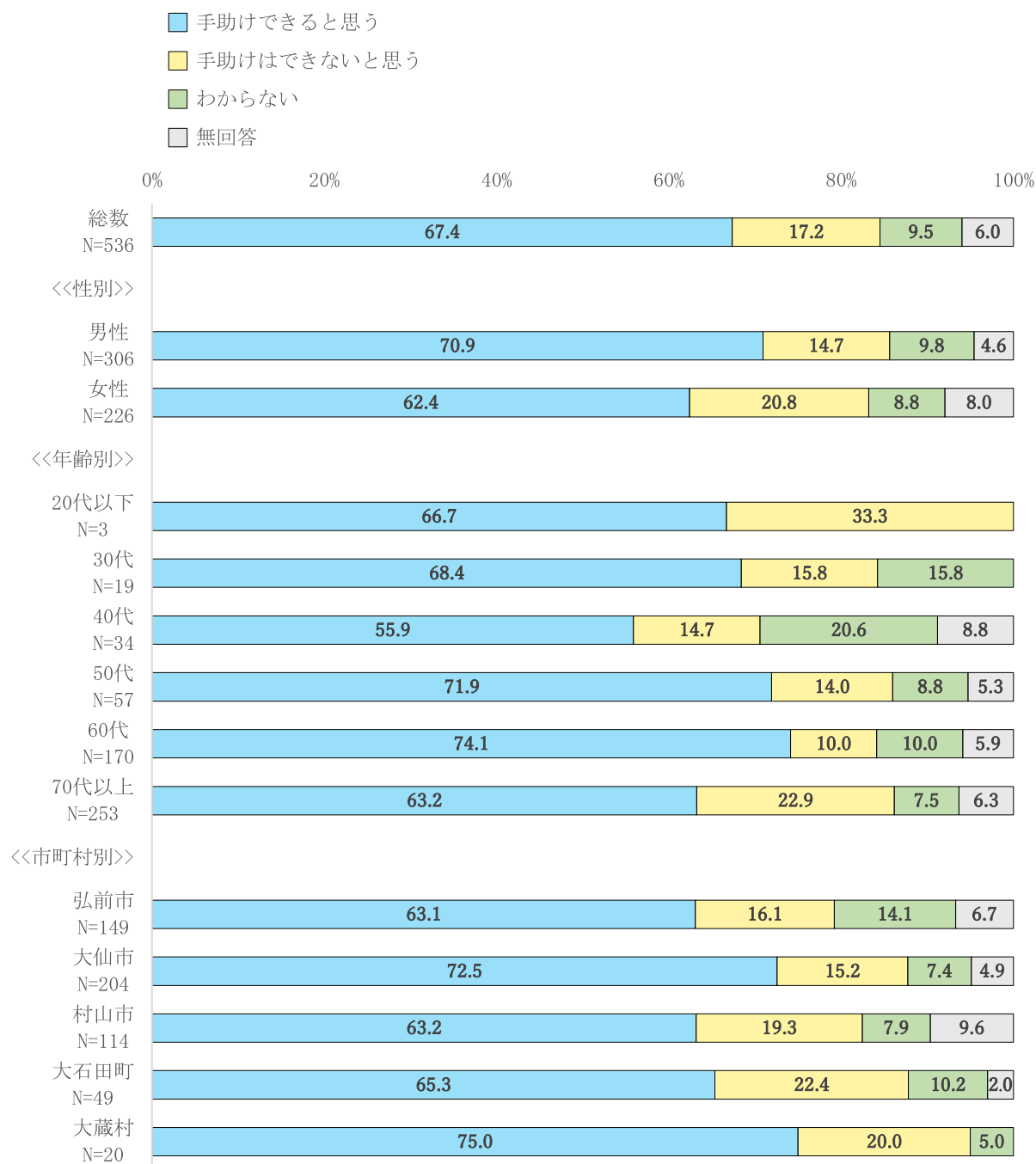
問 6-1 で、「1. 該当するような人がいると思う。」と回答した人にお尋ねします。いざという時に、あなたは、その人が避難するのを手助けできると思いますか、

また手助けできるならどの程度のことだと思えますか。

次の選択肢から 1 つ選んでください。(○は 1 つ。)

問 6-1 で、「1. 該当するような人がいると思う。」と回答した人 (536 人) に、その人が避難するのを手助けできると思うかについて聞いたところ、「手助けできると思う。」が 67.4%、「手助けはできないと思う。」が 17.2%、「わからない。」が 9.5%となり、「手助けできると思う。」が最も高かった。

図 17 避難の手助けができるか



問 6-2 選択肢 1. 手助けできると思う内容（複数回答）

問 6-2 で、「1. 手助けできると思う。」と回答した人（361 人）に、手助けできると思う内容について聞いたところ、「避難の際の声がけ」が 68.4%、「一緒に避難するから」が 24.4%、「その人の家族など関係先へ連絡するから」が 5.8%、などの順となっている。

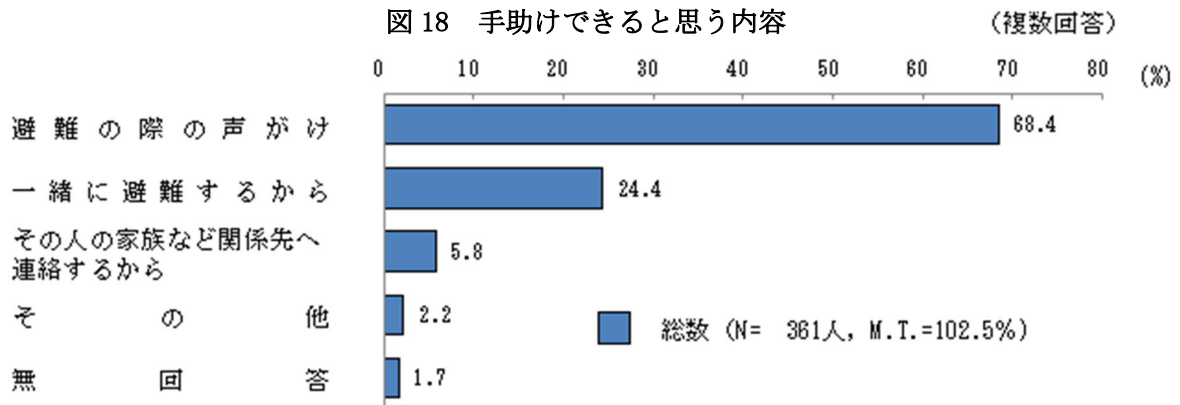


表 9 手助けできると思う内容（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、%）

	該当数	避難の際の声がけ	一緒に避難する	その人の家族など関係先へ連絡する	その他	無回答	回答計
総数	361	68.4	24.4	5.8	2.2	1.7	102.5
<<性別>>							
男性	217	66.4	25.3	4.6	3.7	0.9	100.9
女性	141	71.6	22.7	7.8	--	2.8	105.0
<<年齢別>>							
20代以下	2	100.0	-	-	-	-	100.0
30代	13	69.2	30.8	-	7.7	-	107.7
40代	19	68.4	21.1	5.3	5.3	-	100.0
50代	41	70.7	22.0	7.3	4.9	-	104.9
60代	126	67.5	25.4	5.6	1.6	1.6	101.6
70代以上	160	68.1	24.4	6.3	1.3	2.5	102.5
<<調査地域-市町村別>>							
弘前市	94	75.5	18.1	4.3	2.1	2.1	102.1
大仙市	148	65.5	29.1	8.1	0.7	--	103.4
村山市	72	70.8	15.3	4.2	6.9	4.2	101.4
大石田町	32	59.4	37.5	3.1	-	-	100.0
大蔵村	15	60.0	33.3	6.7	-	6.7	106.7

**問 6-3. 問 6-2 で 1 と回答した人**

問 6-2 で、「1. 手助けできると思う。」と回答した人にお尋ねします。  
手助けできるのはどのような時だと思えますか。  
次の選択肢から 1 つ選んでください。(○は1つ)

問 6-2 で、「1. 手助けできると思う。」と回答した人 (361 人) に、手助けできるのはどのような時だと思えるかについて聞いたところ、「いつでも、自発的に手助けできると思う。」が 41.6%、「休日や夜間などの時間帯 (在宅時間) に限られると思う。」が 16.3%、「相手からお願いされたいいつでも手助けできる。」が 14.4%、「相手からお願いされても、そのときにならないとわからないと思う。」が 8.9%、などの順となっている。

図 19 手助けできると思うとき

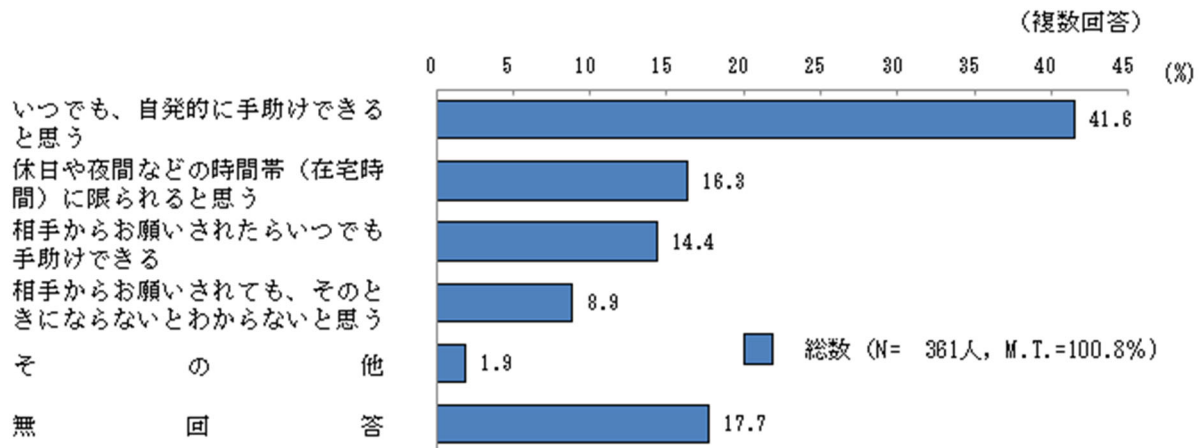


表 10 手助けできると思うとき（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、％）

	該当数	いつでも、自発的に手助けできると思う	相手からお願いされたいつでも手助けできる	相手からお願いされても、そのときにならないとわからないと思う	休日や夜間などの時間帯（在宅時間）に限られると思う	その他	無回答	回答計
総数	361	41.6	14.4	8.9	16.3	1.9	17.7	100.8
<<性別>>								
男性	217	43.3	13.4	7.8	16.6	2.3	17.1	100.5
女性	141	39.7	15.6	10.6	14.9	1.4	19.1	101.4
<<年齢別>>								
20代以下	2	-	50.0	-	50.0	-	-	100.0
30代	13	38.5	-	-	38.5	-	23.1	100.0
40代	19	42.1	5.3	5.3	31.6	5.3	10.5	100.0
50代	41	19.5	4.9	2.4	43.9	2.4	26.8	100.0
60代	126	37.3	19.0	5.6	17.5	0.8	20.6	100.8
70代以上	160	51.3	15.0	14.4	4.4	2.5	13.8	101.3
<<調査地域-市町村別>>								
弘前市	94	41.5	18.1	11.7	13.8	1.1	16.0	102.1
大仙市	148	41.9	12.2	7.4	16.9	2.0	20.3	100.7
村山市	72	37.5	15.3	9.7	18.1	2.8	16.7	100.0
大石田町	32	50.0	6.3	3.1	21.9	3.1	15.6	100.0
大蔵村	15	40.0	26.7	13.3	6.7	-	13.3	100.0

**問 6-4. 問 6-2 で 2 と回答した人**

問 6-2 で、「2. 手助けはできないと思う。」と回答した人にお尋ねします。  
その理由として当てはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)

問 6-2 で、「2. 手助けはできないと思う。」と回答した人 (92 人) に、手助けできない理由について聞いたところ、「自分や家族のことで精一杯 (余力がない)。」が 84.8%、「自分や家族以外の人に対して責任を負うことが心配」が 4.3%、「市町村など公的な機関の役割だと思ふから。」が 4.3%、「他の人と必要以上の関わりを持ちたくないと思ふから。」が 1.1%、などの順となっている。

図 20 手助けできない理由

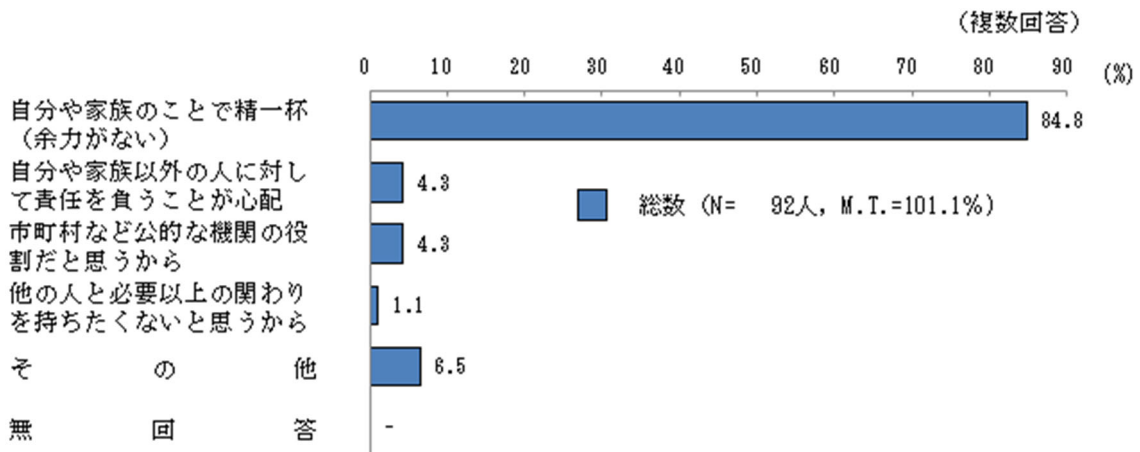




表 11 手助けできない理由（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、％）

	該当数	自分や家族のことで精一杯（余力がない）	自分や家族以外の人に対して責任を負うことが心配	市町村など公的な機関の役割だと思うから	他の人と必要以上の関わりを持ちたくないと思うから	その他	無回答	回答計
総数	92	84.8	4.3	4.3	1.1	6.5	0.0	101.1
<<性別>>								
男性	45	84.4	4.4	4.4	-	6.7	-	100.0
女性	47	85.1	4.3	4.3	2.1	6.4	0.0	102.1
<<年齢別>>								
20代以下	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0
30代	3	66.7	33.3	-	-	-	-	100.0
40代	5	80.0	-	-	20.0	-	-	100.0
50代	8	62.5	12.5	-	-	25.0	-	100.0
60代	17	88.2	-	11.8	-	-	-	100.0
70代以上	58	87.9	3.4	3.4	-	6.9	-	101.7
<<調査地域-市町村別>>								
弘前市	24	79.2	4.2	12.5	4.2	4.2	-	104.2
大仙市	31	93.5	3.2	-	-	3.2	-	100.0
村山市	22	81.8	9.1	-	-	9.1	-	100.0
大石田町	11	72.7	-	9.1	-	18.2	-	100.0
大蔵村	4	100.0	-	-	-	-	-	100.0

**問 6-5. ここからは全員の方がお答えください**

いざという時に、一人で避難することが難しい人の避難を手助けするのは、どのような人に任せるのが適当だと思いますか。

次の選択肢から 2つまで 選んでください。(○は2つまで)

いざという時に、一人で避難することが難しい人の避難を手助けするのは、どのような人に任せるのが適当であると思うかについて聞いたところ、「家族や近所の人」が 66.3%、「町内会などの地域の組織の役員など」が 33.3%、「警察官、消防署員」が 31.8%、「消防団」が 31.0%、「市町村」が 8.3%、などの順となっている。

図 21 手助けを任せる人

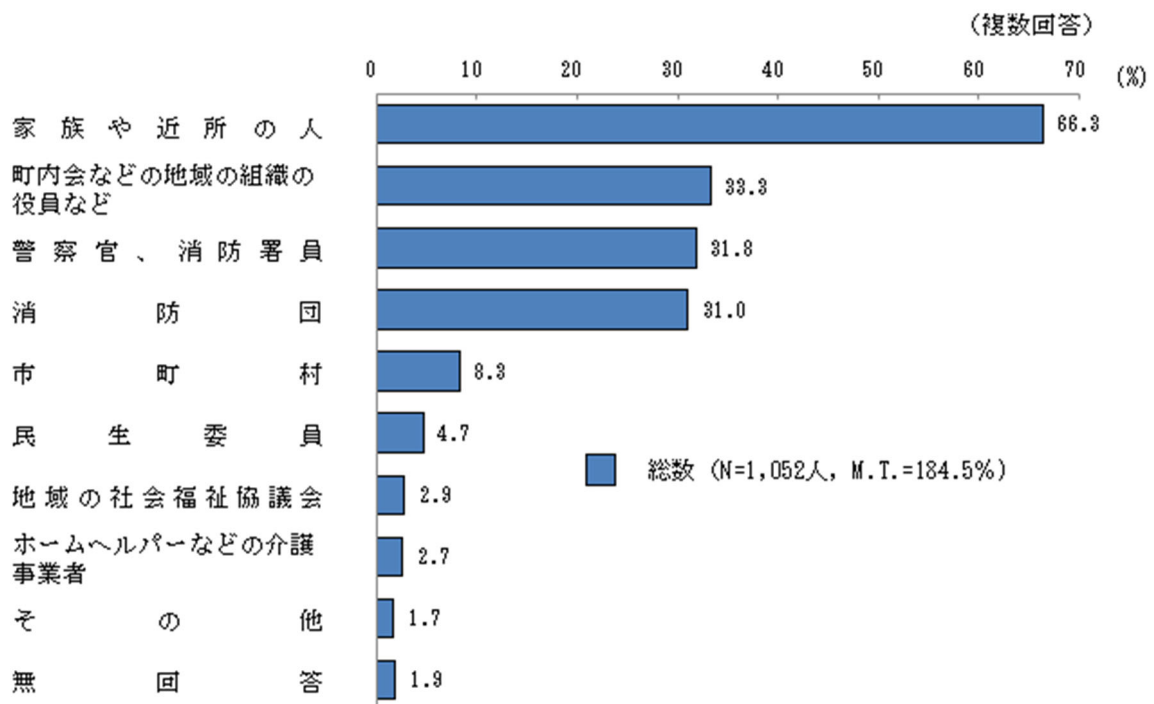


表 12 手助けを任せる人（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、％）

	該当数	家族や近 所の人	町内会な どの地域 の組織の 役員など	民生委員	消防団	警察官、 消防署員	市町村	ホームヘ ルパーな どの介護 事業者	地域の社 会福祉協 議会	その他	無回答	回答計
総数	1,052	66.3	33.3	4.7	31.0	31.8	8.3	2.7	2.9	1.7	1.9	184.5
<<性別>>												
男性	599	66.9	33.9	2.5	31.2	33.4	8.0	2.0	2.3	1.8	1.3	183.5
女性	445	66.1	32.6	7.4	31.0	30.1	8.3	3.6	3.6	1.3	2.5	186.5
<<年齢別>>												
20代以下	10	40.0	30.0	-	50.0	70.0	10.0	-	-	-	-	200.0
30代	39	79.5	30.8	5.1	23.1	30.8	10.3	5.1	-	2.6	-	187.2
40代	82	64.6	28.0	3.7	35.4	28.0	9.8	4.9	3.7	1.2	2.4	181.7
50代	119	64.7	26.1	4.2	40.3	36.1	10.9	1.7	2.5	0.8	0.8	188.2
60代	312	69.6	36.2	4.2	30.8	33.7	6.7	2.6	3.5	2.2	1.0	190.4
70代以上	487	64.3	34.5	5.3	28.5	29.6	8.2	2.5	2.7	1.6	2.9	180.1
<<調査地域-市町村別>>												
弘前市	358	67.9	24.9	4.5	29.1	42.7	8.7	2.0	4.2	1.7	1.7	187.2
大仙市	330	62.1	40.9	4.5	33.0	27.0	8.8	3.0	1.2	2.1	2.4	185.2
村山市	225	66.7	24.4	6.2	35.1	32.9	8.4	3.1	3.1	0.9	1.8	182.7
大石田町	101	70.3	58.4	3.0	18.8	11.9	6.9	4.0	3.0	3.0	2.0	181.2
大蔵村	38	76.3	31.6	2.6	39.5	18.4	2.6	-	2.6	-	-	173.7

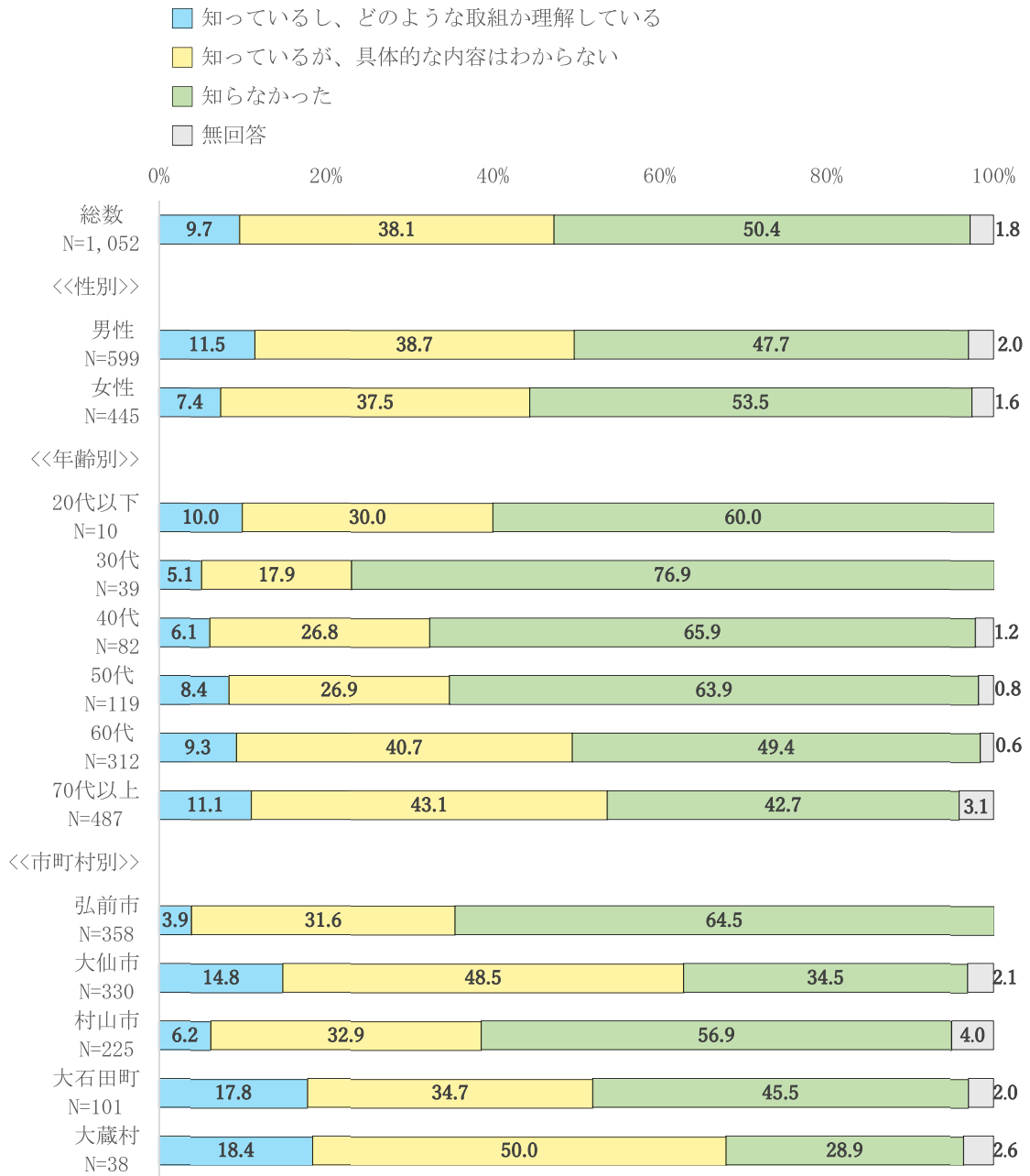
問 7-1. **全員**

国や市町村は、高齢や身体が不自由などの理由で災害時に一人で避難することが難しい人を事前に見つけて、災害が発生しそうな時には、いち早く避難の手助けをするため、該当する人ごとに個別の避難計画を策定しようとして取り組んでいます。

あなたは、国、市町村のこのような取組についてご存じでしたか。(○は1つ)

国、市町村の避難計画策定取組の認知度について聞いたところ、「知っているし、どのような取組か理解している。」が9.7%、「知っているが、具体的な内容はわからない。」が38.1%、「知らなかった。」が50.4%となり、「知らなかった。」が最も高かった。

図 22 国、市町村の避難計画策定取組の認知度



**問 7-2. 全員**

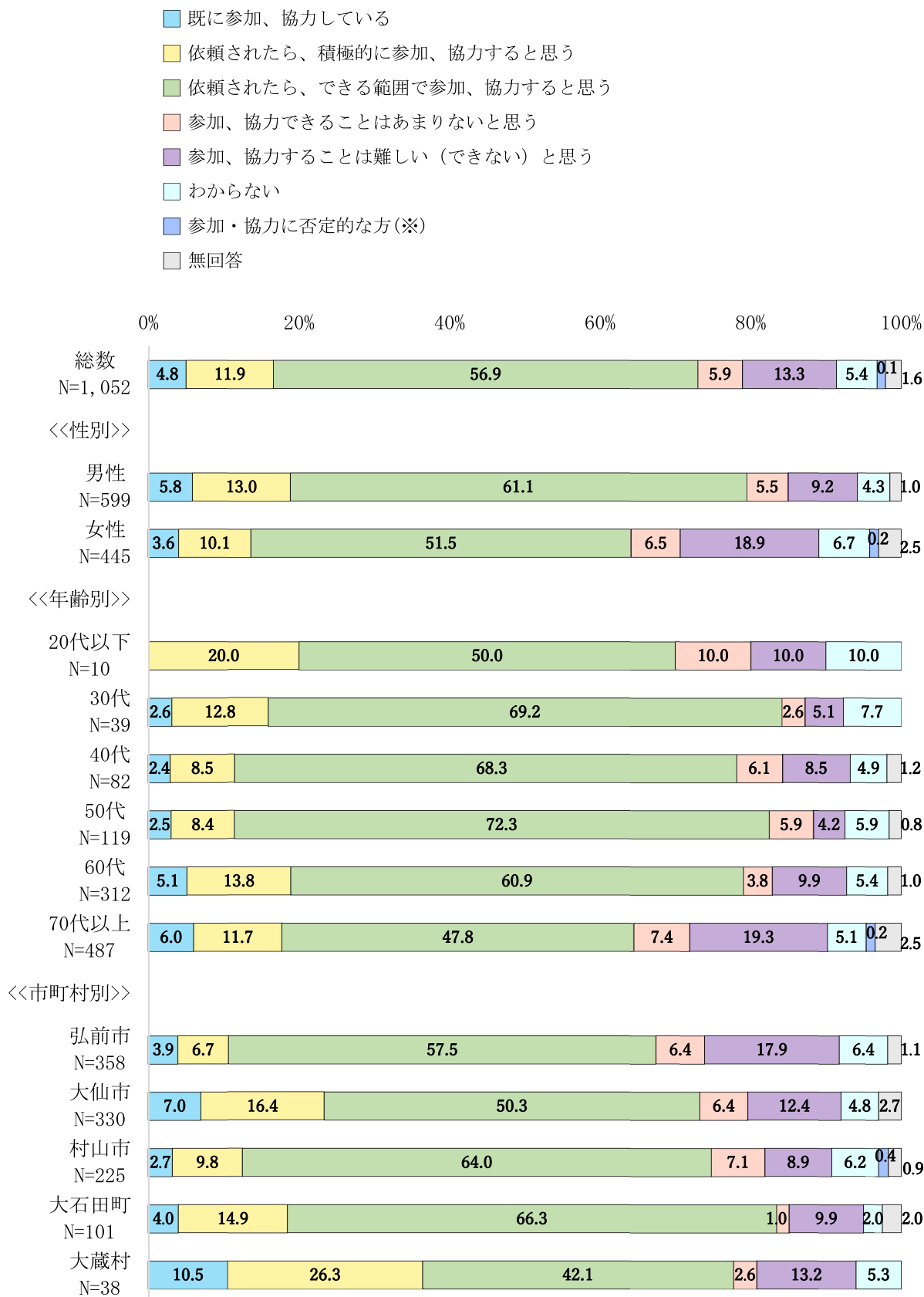
問 7-1 で説明した、一人で避難することが難しい人を事前に見つけて、その人ごとに個別の避難計画を策定しようという取組についてお尋ねします。

あなたは、市町村や町内会などから、このような取組への参加や協力をお願いされた時、どのように思いますか。

次の選択肢から1つ選んでください。(○は1つ)

避難計画策定取組への参加協力意向について聞いたところ、「既に参加、協力している。」が 4.8%、「依頼されたら、積極的に参加、協力すると思う。」が 11.9%、「依頼されたら、できる範囲で参加、協力すると思う。」が 56.9%、「参加、協力できることはあまりないと思う。」が 5.9%、「参加、協力することは難しい（できない）と思う。」が 13.3%、「わからない」が 5.4%、「参加・協力を否定的な方（※）」が 0.1%となり、「依頼されたら、できる範囲で参加、協力すると思う。」が最も高かった。

図 23 避難計画策定取組への参加協力意向



※「参加・協力を否定的な方(※)」は問7-2選択肢に回答がなく、問7-5に回答があった方

**問 7-3. 全員**

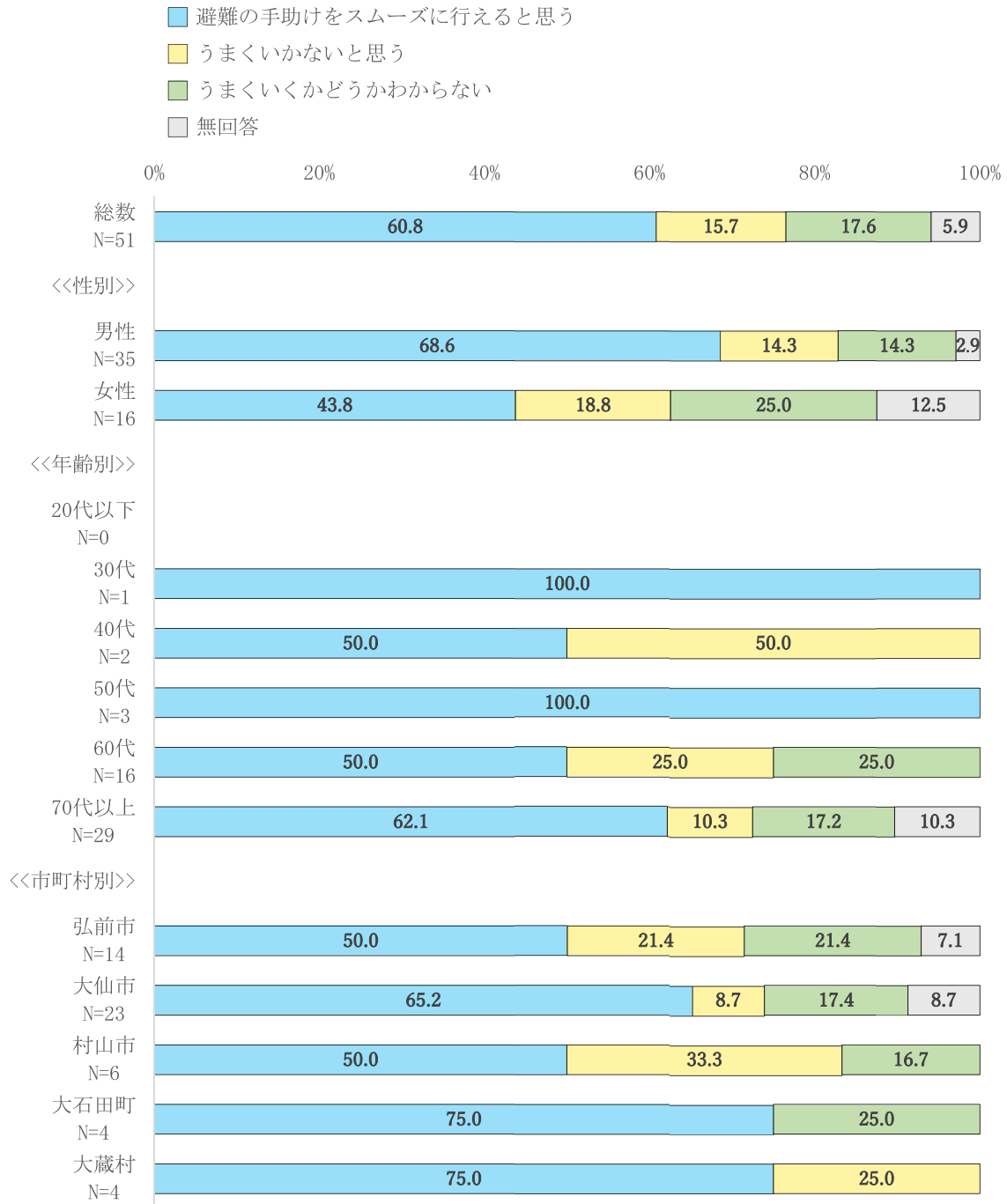
問 7-2 で、「1. 既に参加、協力している。」と回答した人にお尋ねします。  
実際に災害が発生するおそれのあるときに、あなたはご自分の役割を果たし、避難の手助けを行うことができますか。

次の選択肢から1つ選んでください。(○は1つ)

問 7-2 で、「1. 既に参加、協力している。」と回答した人 (51 人) に、実際に災害が発生するおそれのあるときに、自分の役割を果たし、避難の手助けを行うことができるかについて聞いたところ、「避難の手助けをスムーズに行えると思う。」が 60.8%、「うまくいかないと思う。」が 15.7%、「うまくいくかどうかわからない。」が 17.6%となり、「避難の手助けをスムーズに行えると思う。」が最も高かった。



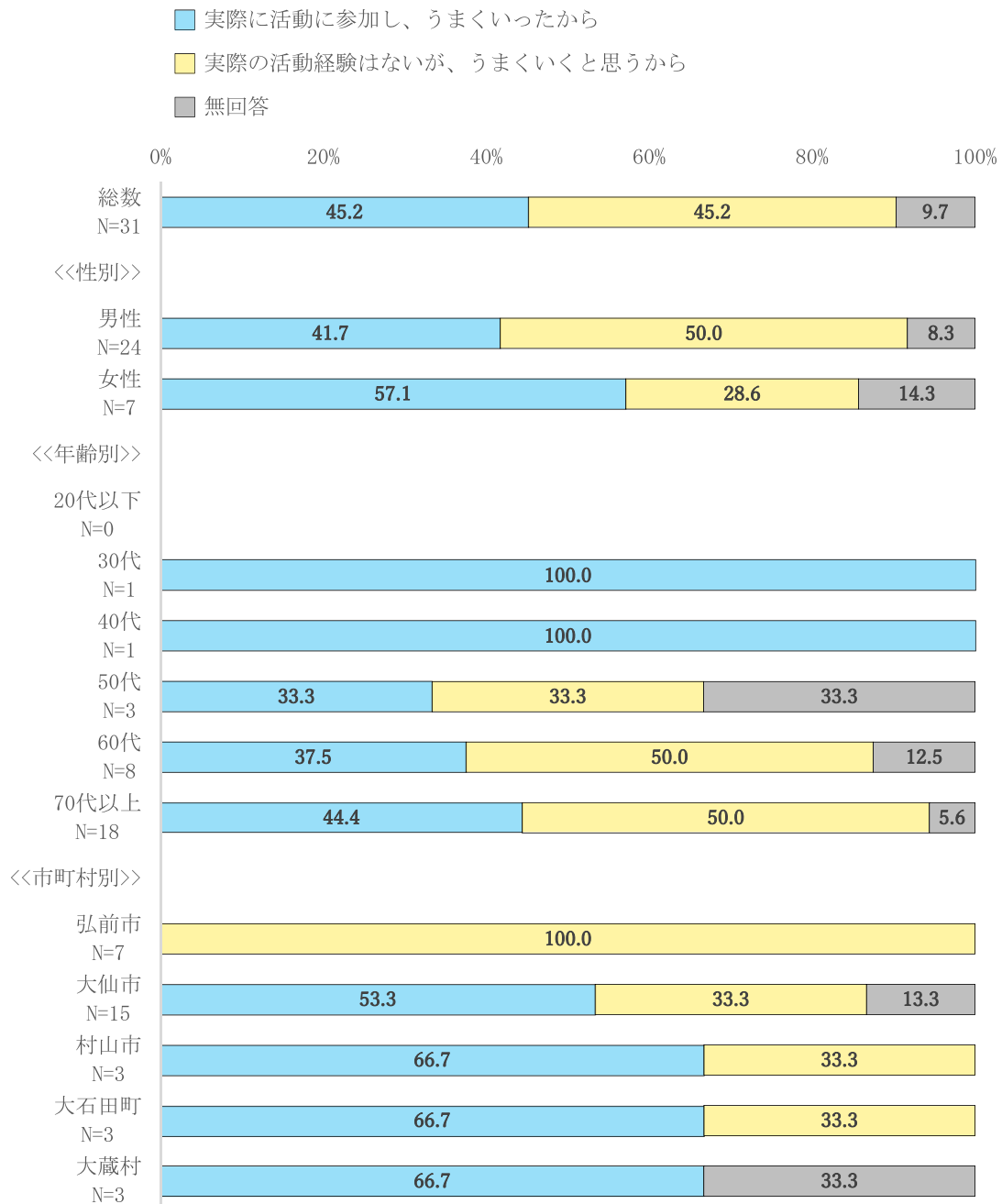
図 24 避難の手助けを行うことができると思うか



**問 7-3 選択肢 1. 避難の手助けをスムーズに行えると思う理由**  
**((1) ~ (2) から1つお選びください。)**

問 7-3 で、「1. 避難の手助けをスムーズに行えると思う。」と回答した人 (31 人) に、その理由について聞いたところ、「実際に活動に参加し、うまくいったから」が 45.2%、「実際の活動経験はないが、うまくいくと思うから」が 45.2%、「実際の活動経験はないが、うまくいくと思うから」が 45.2%となった。

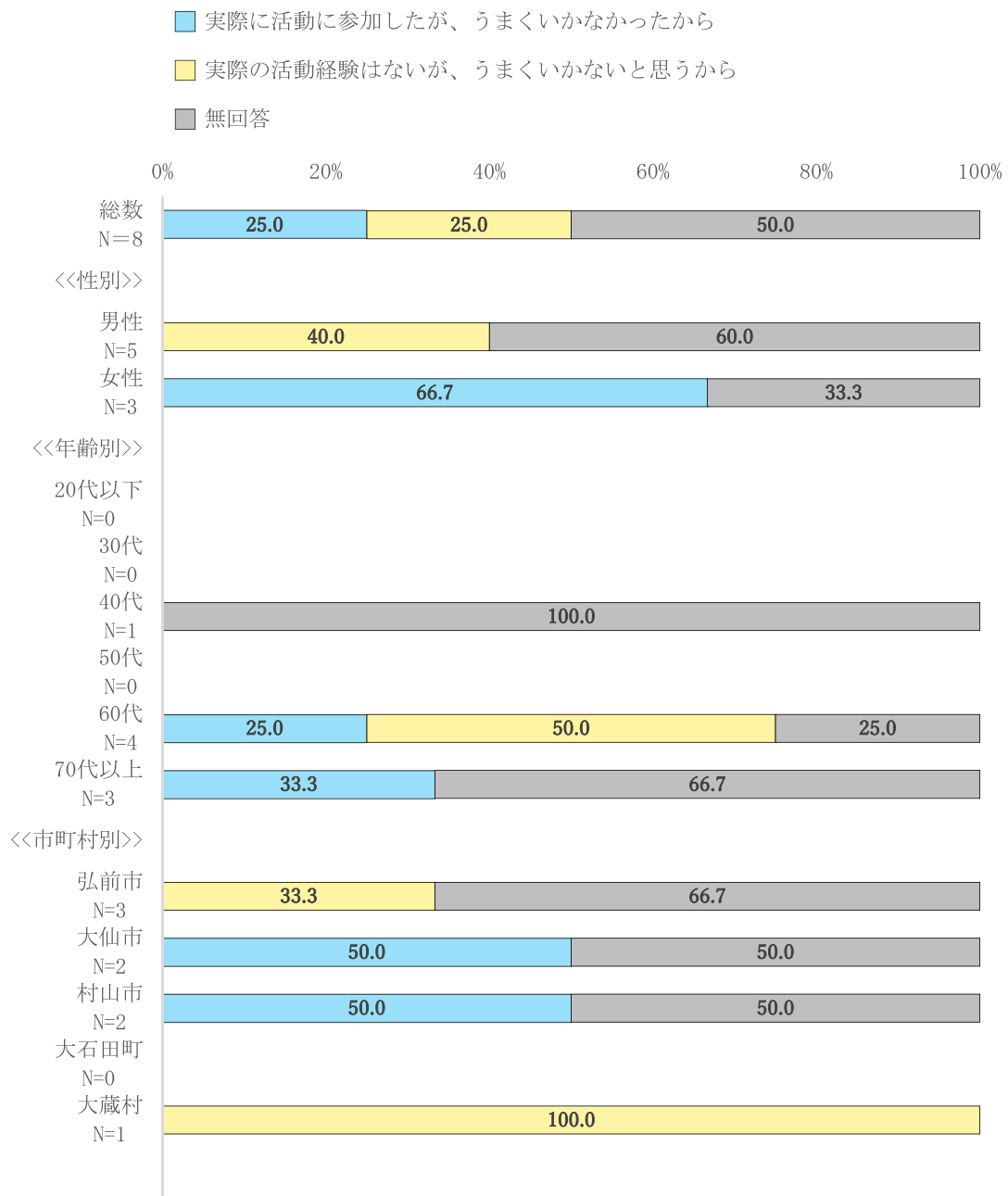
**図 25 避難の手助けをスムーズに行えると思う理由**



**問 7-3. うまくいかないと思う理由**  
**((1) ~ (2) から1つお選びください。)**

問 7-3 で、「2. うまくいかないと思う。」と回答した人（8 人）に、その理由について聞いたところ、「実際に活動に参加したが、うまくいかなかったから」が 25.0%、「実際の活動経験はないが、うまくいかないと思うから」が 25.0%、「実際の活動経験はないが、うまくいかないと思うから」が 25.0%となった。

**図 26 うまくいかないと思う理由**



**問 7-4. 問 7-3 で 2 と回答した人**

問 7-3 で、「2. うまくいかないと思う。」と回答した人にお尋ねします。  
あなたがそのように回答した理由として、どのようなことが問題になる（問題だった）と思いますか。次の選択肢から選んでください。（○はいくつでも）

問 7-3 で、「2. うまくいかないと思う。」と回答した人（8 人）に、そのように回答した理由として、どのようなことが問題になる（問題だった）と思うかについて聞いたところ、「自分の体力などに自信が無いから」が 37.5%、「仕事などの理由から、いつでも避難の手助けができると限らないから」が 25.0%、「避難行動の支援を想定した訓練の経験がないから」が 12.5%、「自分たち（近所の住民）だけでは人手が不足だと思うから」が 12.5%、などの順となっている。

図 27 問題になる内容

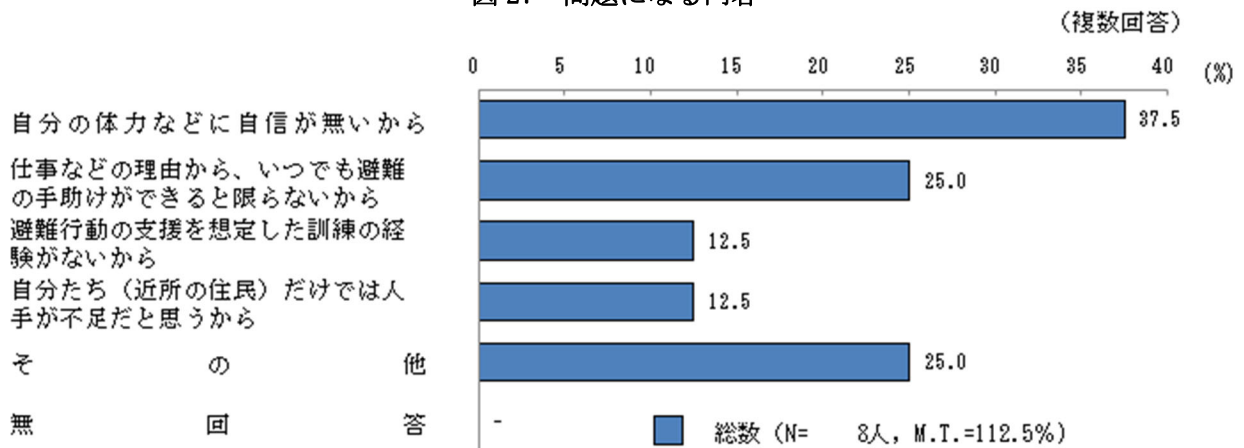


表 13 うまくいかないと思う理由（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、％）

	該当数	仕事などの理由から、いつでも避難の手助けができるに限らないから	自分の体力などに自信が無いから	避難行動の支援を想定した訓練の経験がないから	自分たち（近所の住民）だけでは人手が不足だと思うから	その他	無回答	回答計
総数	8	25.0	37.5	12.5	12.5	25.0	-	112.5
<<性別>>								
男性	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	100.0
女性	3	33.3	66.7	-	-	33.3	-	133.3
<<年齢別>>								
20代以下	-	-	-	-	-	-	-	-
30代	-	-	-	-	-	-	-	-
40代	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0
50代	-	-	-	-	-	-	-	-
60代	4	25.0	-	25.0	-	50.0	-	100.0
70代以上	3	33.3	100.0	-	-	-	-	133.3
<<調査地域-市町村別>>								
弘前市	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	133.3
大仙市	2	-	-	-	-	100.0	-	100.0
村山市	2	-	100.0	-	-	-	-	100.0
大石田町	-	-	-	-	-	-	-	-
大蔵村	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0

**問 7-5. 問 7-2 で 4 又は 5 と回答した人**

問 7-2 で、「4. 参加、協力できることはあまりないと思う。」又は「5. 参加、協力することは難しい(できない)と思う。」と回答した人にお尋ねします。

その理由として当てはまるものを 1 つ、次の選択肢から選んでください。(○は 1 つ)

問 7-2 で、「4. 参加、協力できることはあまりないと思う。」又は「5. 参加、協力することは難しい(できない)と思う。」と回答した人(203人)に、その理由について聞いたところ、「自分や家族のことで精一杯(余力がない)だと思ふから」が73.9%、「自分や家族以外の人に対して責任を負うことを負担に感じるから」が4.4%、「市町村など公的な機関の役割だと思ふから」が3.0%、「他の人と必要以上の関わりを持ちたくないと思ふから」が3.0%、などの順となっている。

図 28 参加協力できない理由

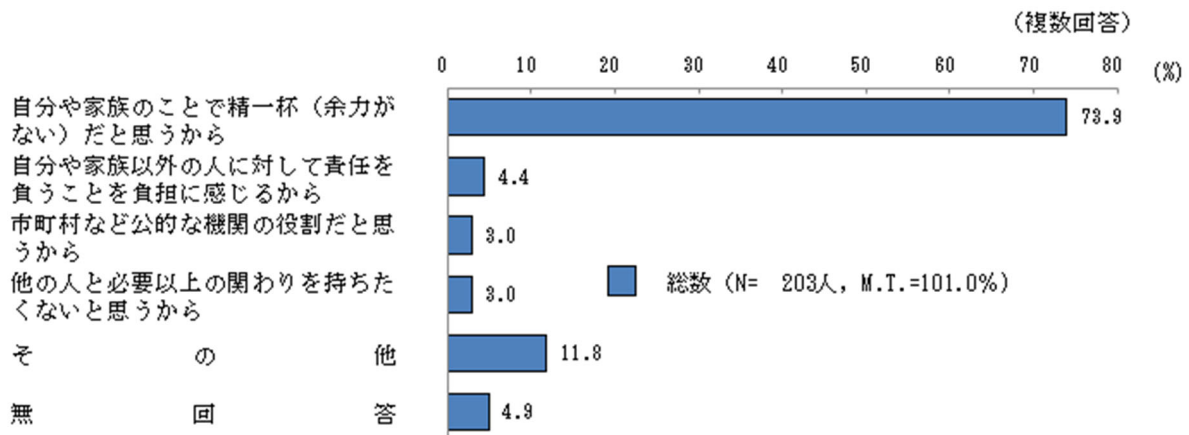


表 14 参加協力できない理由（性、年齢、調査地域別）

（単位：人、％）

	該当数	自分や家族のことで精一杯（余力がない）だと思うから	自分や家族以外の人に対して責任を負うことを負担に感じるから	市町村など公的な機関の役割だと思うから	他の人と必要以上の関わりを持ちたくないと思うから	その他	無回答	回答計
総数	203	73.9	4.4	3.0	3.0	11.8	4.9	101.0
<<性別>>								
男性	88	75.0	5.7	2.3	1.1	10.2	6.8	101.1
女性	114	72.8	3.5	3.5	4.4	13.2	3.5	100.9
<<年齢別>>								
20代以下	2	50.0	－	－	－	50.0	－	100.0
30代	3	100.0	－	－	－	－	－	100.0
40代	12	75.0	8.3	－	8.3	8.3	－	100.0
50代	12	75.0	－	－	16.7	8.3	－	100.0
60代	43	79.1	7.0	4.7	－	11.6	－	102.3
70代以上	131	71.8	3.8	3.1	2.3	12.2	7.6	100.8
<<調査地域-市町村別>>								
弘前市	87	79.3	4.6	2.3	2.3	9.2	2.3	100.0
大仙市	62	71.0	6.5	3.2	1.6	14.5	4.8	101.6
村山市	37	64.9	2.7	2.7	8.1	13.5	8.1	100.0
大石田町	11	63.6	－	9.1	－	18.2	18.2	109.1
大蔵村	6	100.0	－	－	－	－	－	100.0

**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

**(1) 大雨・洪水警報**

「大雨・洪水警報」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が76.3%、「知っているが、意味はよくわからない。」が12.9%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が3.4%、「知らない。」が0.1%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ 大雨・洪水警報

・ 大雨警報

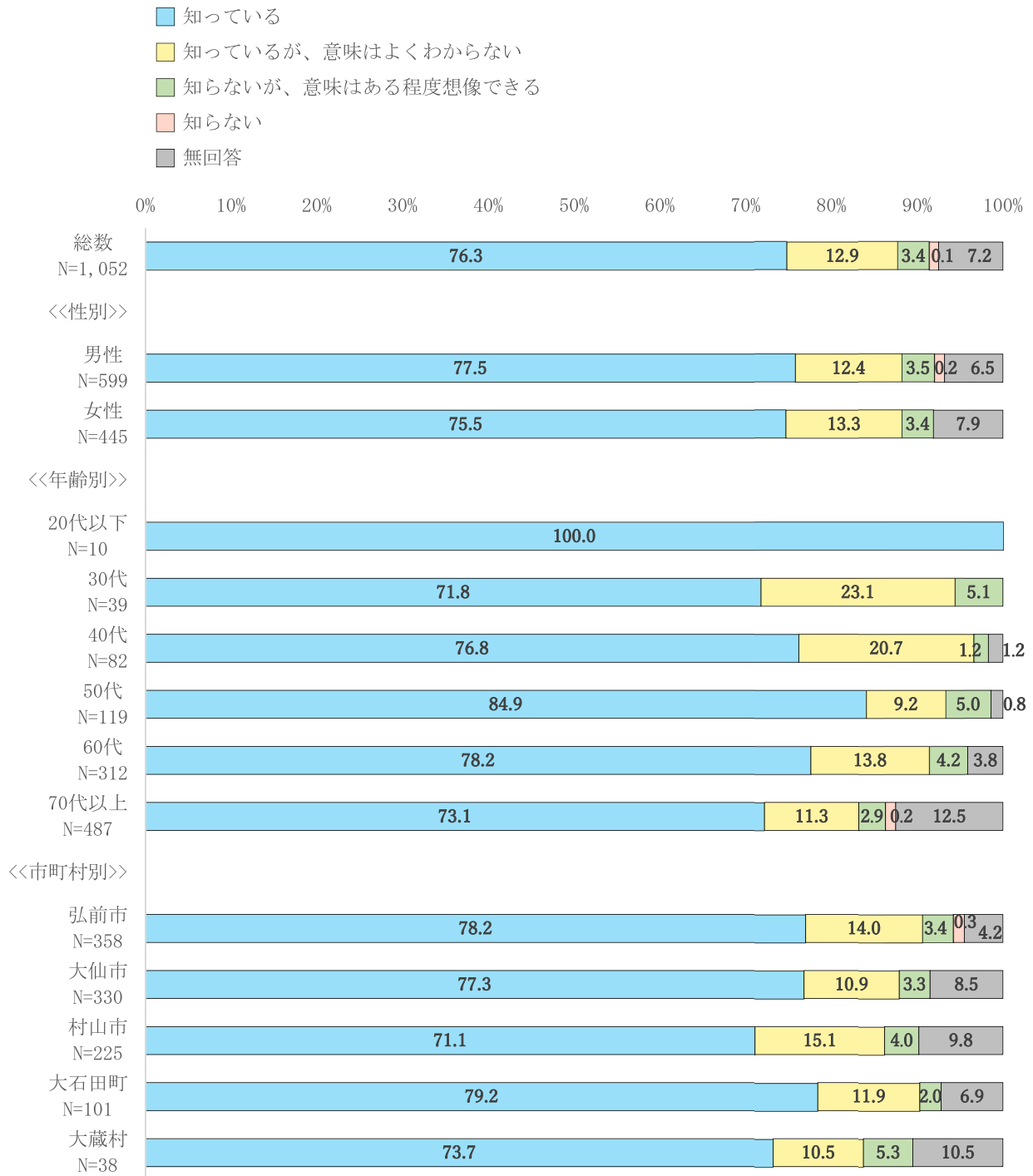
気象庁が大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表するもので、特に警戒すべき事項を標題に明示して「大雨警報（土砂災害）」、「大雨警報（浸水害）」又は「大雨警報（土砂災害、浸水害）」のように発表される。

・ 洪水警報

気象庁が河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表するもの



図 29 「(1) 大雨・洪水警報」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

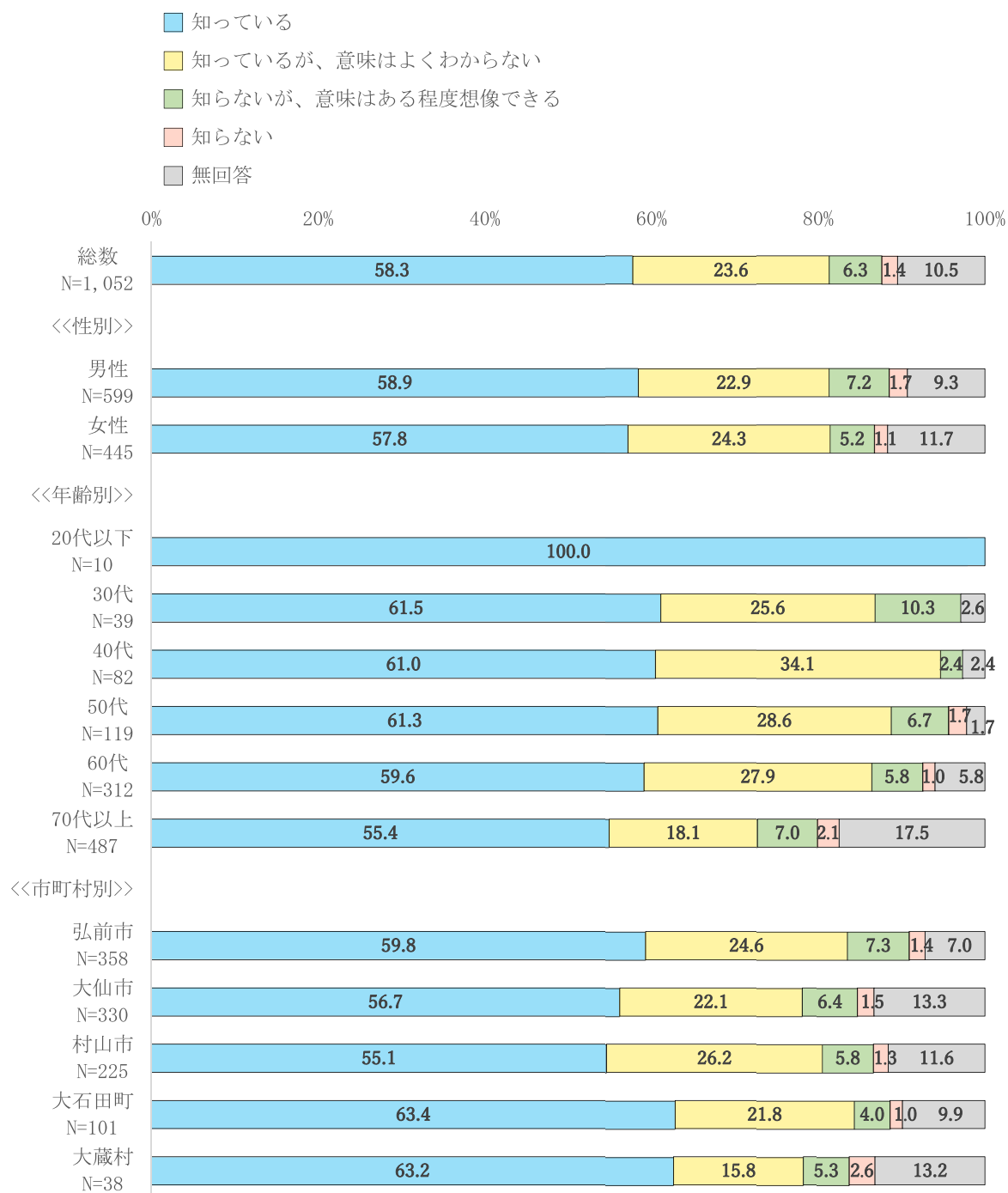
**(2) 大雨特別警報**

「大雨特別警報」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が58.3%、「知っているが、意味はよくわからない。」が23.6%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が6.3%、「知らない。」が1.4%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ 大雨特別警報

気象台が台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表するもので、浸水害と土砂災害の2つの指標がある。

図 30 「(2) 大雨特別警報」の理解度



問 8-1. **ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

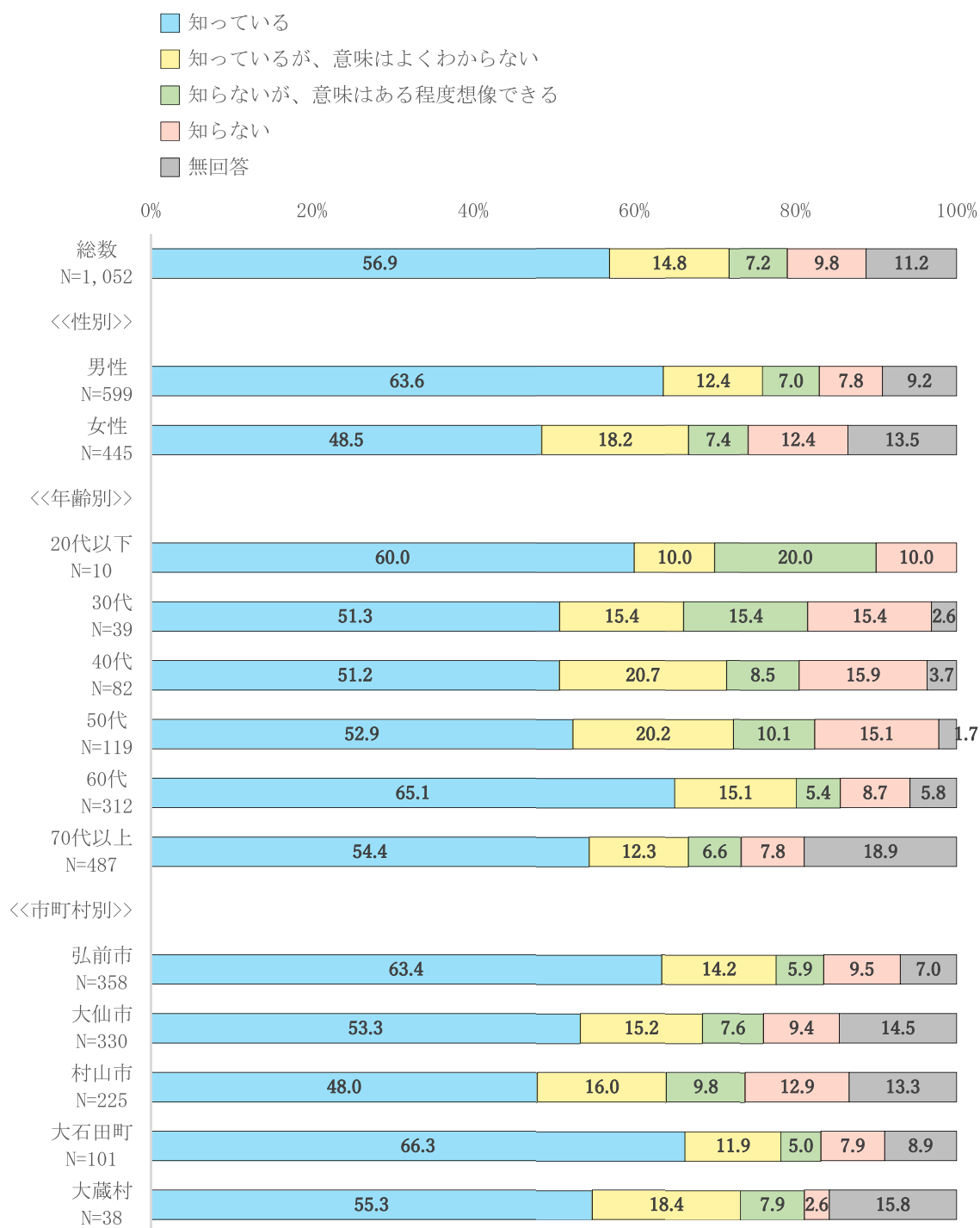
(3) 線状降水帯

「線状降水帯」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が56.9%、「知っているが、意味はよくわからない。」が14.8%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が7.2%、「知らない。」が9.8%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ 線状降水帯

線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況

図 31 「(3) 線状降水帯」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

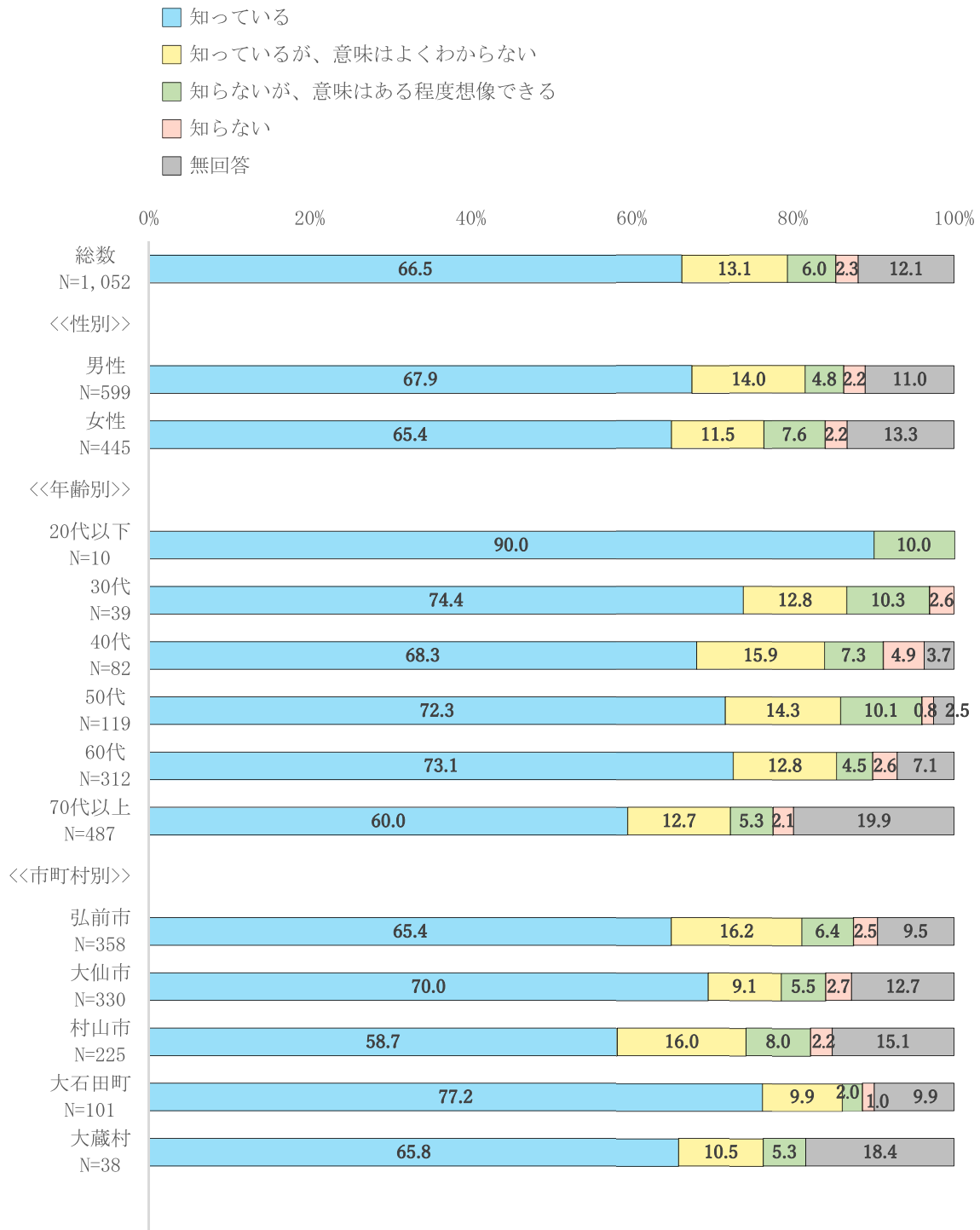
**(4) はん濫危険水位**

「はん濫危険水位」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が66.5%、「知っているが、意味はよくわからない。」が13.1%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が6.0%、「知らない。」が2.3%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ はん濫危険水位

洪水、内水氾濫により相当の家屋浸水等の被害を生じる氾濫の起こるおそれがある水位。市町村長の避難情報の発令判断の目安となる水位である。

図 32 「(4) はん濫危険水位」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

**(5) アンダーパス**

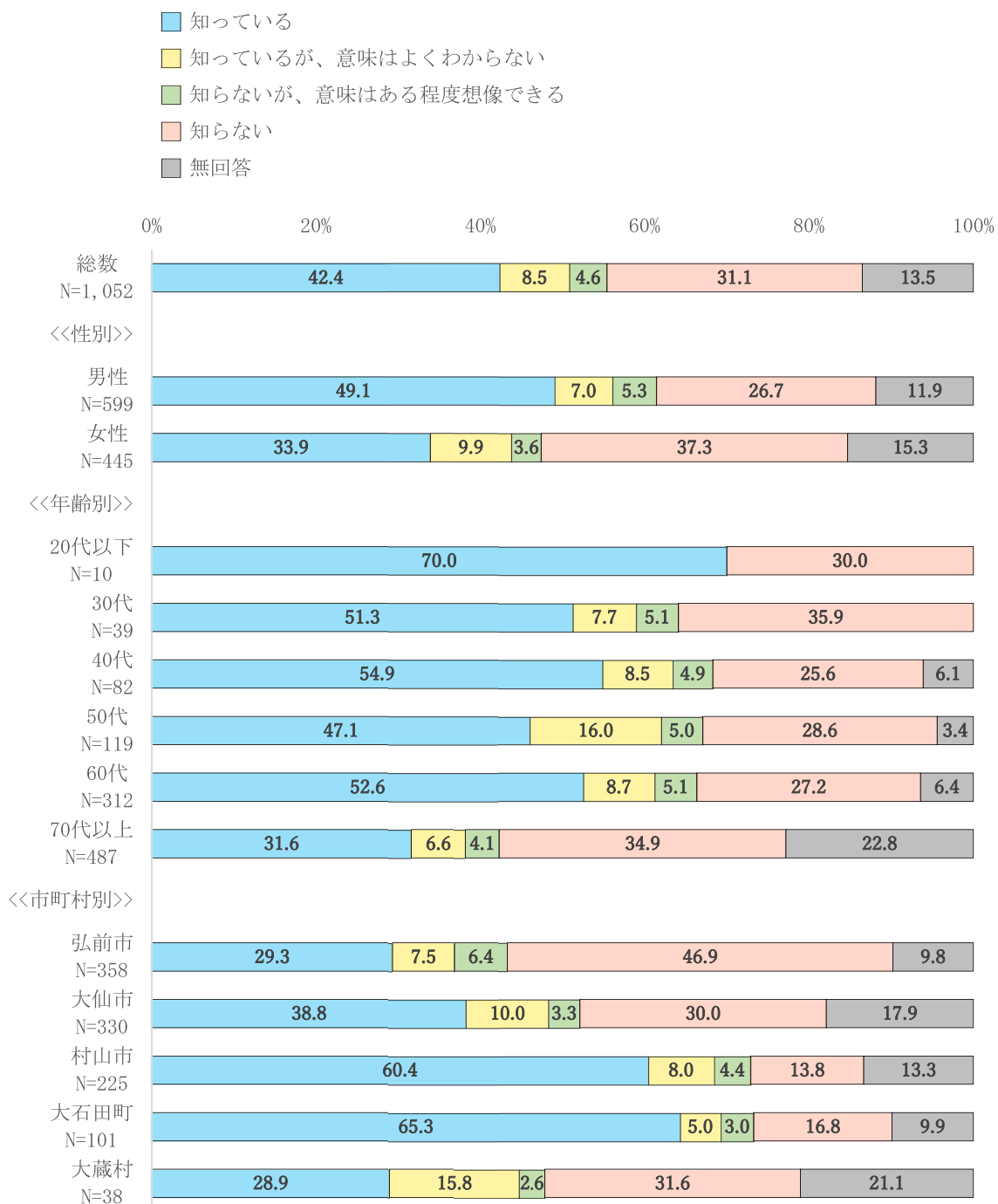
「アンダーパス」の意味を知っているか聞いたところ、「知っている。」が42.4%、「知っているが、意味はよくわからない。」が8.5%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が4.6%、「知らない。」が31.1%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ アンダーパス

鉄道線路やほかの幹線道路等との立体交差部で、鉄道線路等の下をくぐり抜けるように整備されている箇所



図 33 「(5) アンダーパス」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(〇は1つ)

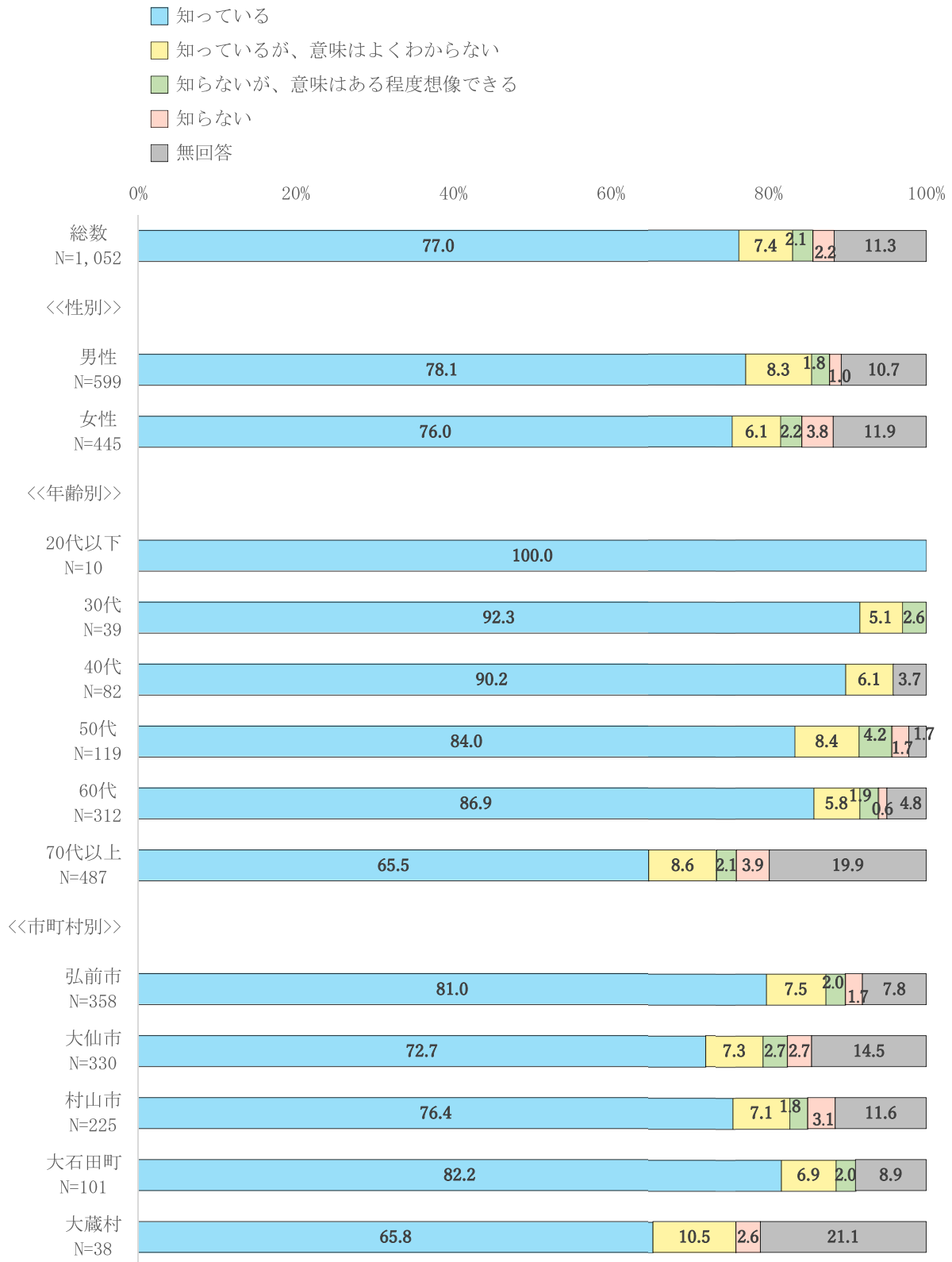
**(6) ハザードマップ**

「ハザードマップ」の意味を知っているか聞いたところ、「知っている。」が77.0%、「知っているが、意味はよくわからない。」が7.4%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が2.1%、「知らない。」が2.2%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ ハザードマップ

自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図

図 34 「(6) ハザードマップ」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

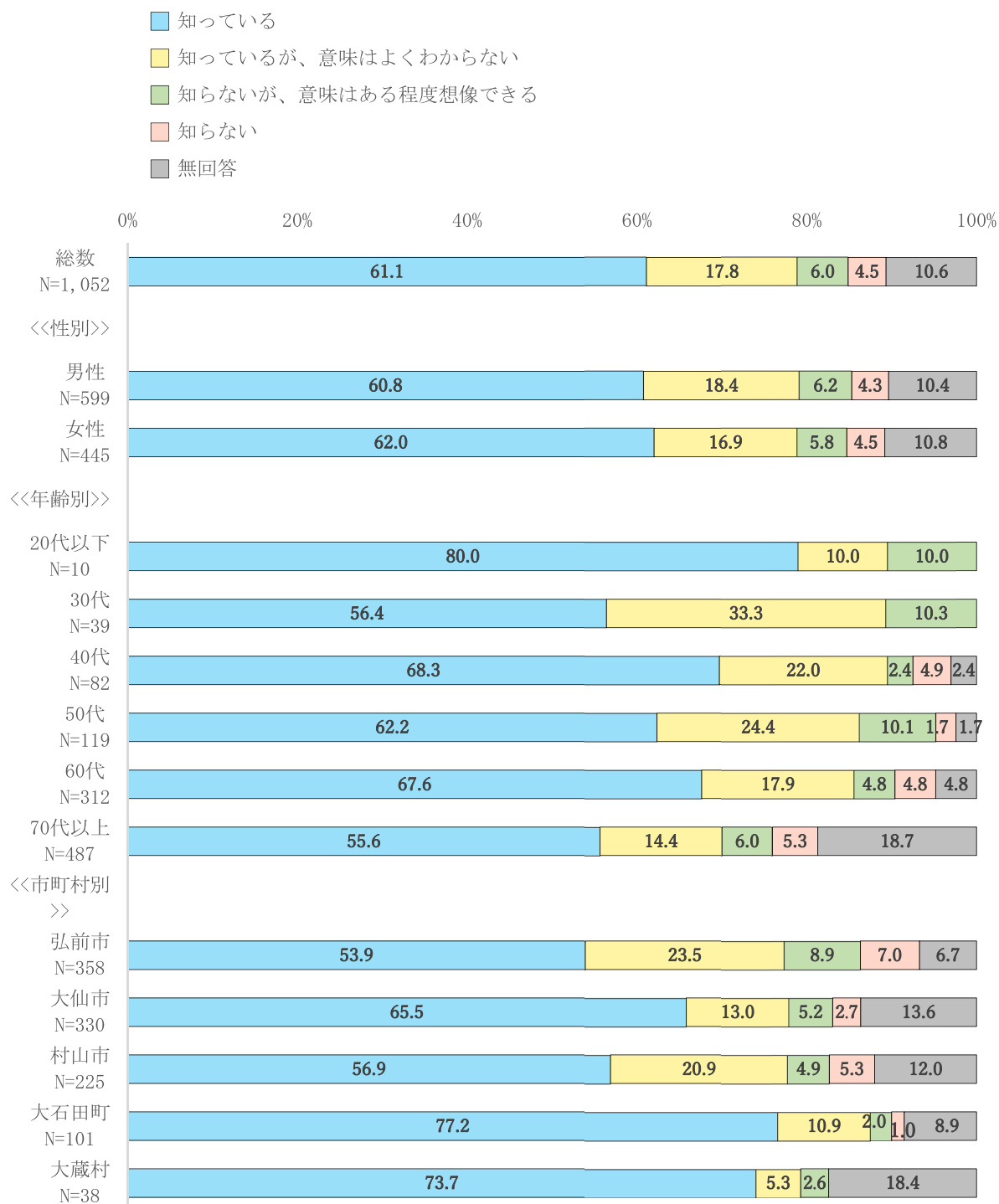
**(7) 指定緊急避難場所**

「指定緊急避難場所」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が 61.1%、「知っているが、意味はよくわからない。」が 17.8%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が 6.0%、「知らない。」が 4.5%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ 指定緊急避難場所

災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）の規定により、切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所。市町村により、災害種別に応じた指定がなされる。

図 35 「(7) 指定緊急避難場所」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

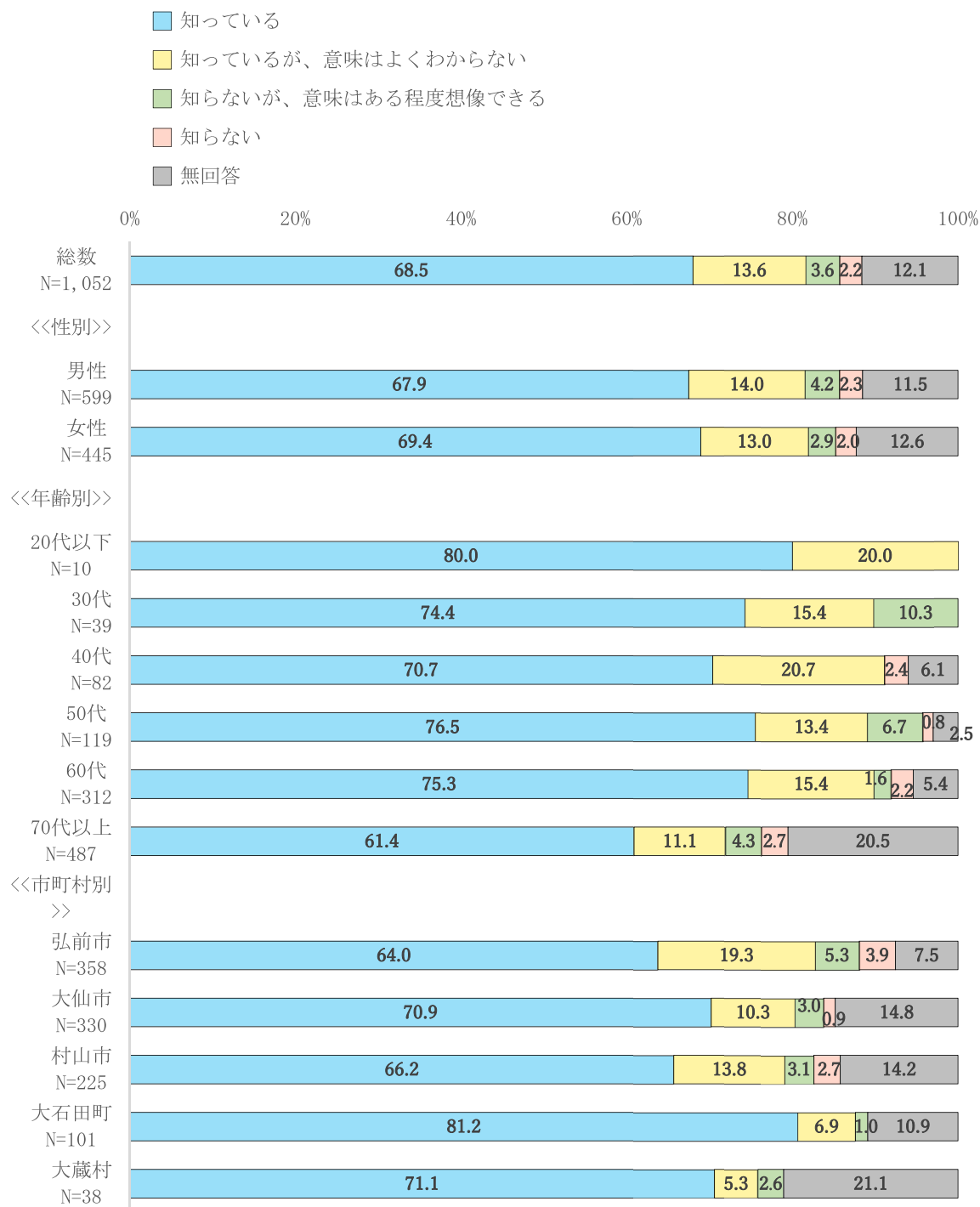
**(8) 指定避難所**

「指定避難所」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が68.5%、「知っているが、意味はよくわからない。」が13.6%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が3.6%、「知らない。」が2.2%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ 指定避難所

災害対策基本法の規定により、災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする場所。市町村によって指定される。

図 36 「(8) 指定避難所」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(〇は1つ)

**(9) 避難行動要支援者**

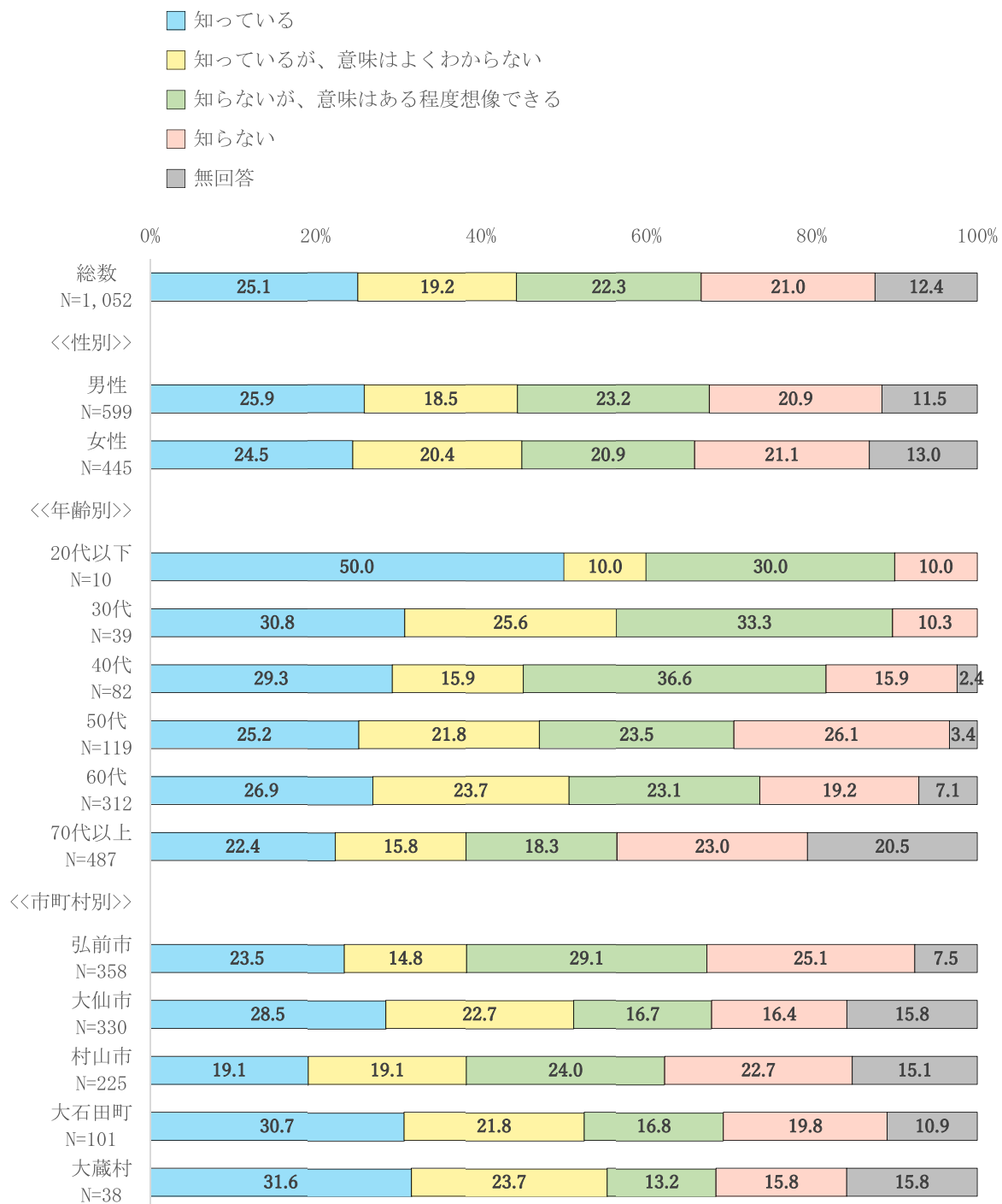
「避難行動要支援者」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が 25.1%、「知っているが、意味はよくわからない。」が 19.2%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が 22.3%、「知らない。」が 21.0%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ 避難行動要支援者

高齢者、障害者等のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、円滑・迅速な避難のために特に支援を要する者



図 37 「(9) 避難行動要支援者」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

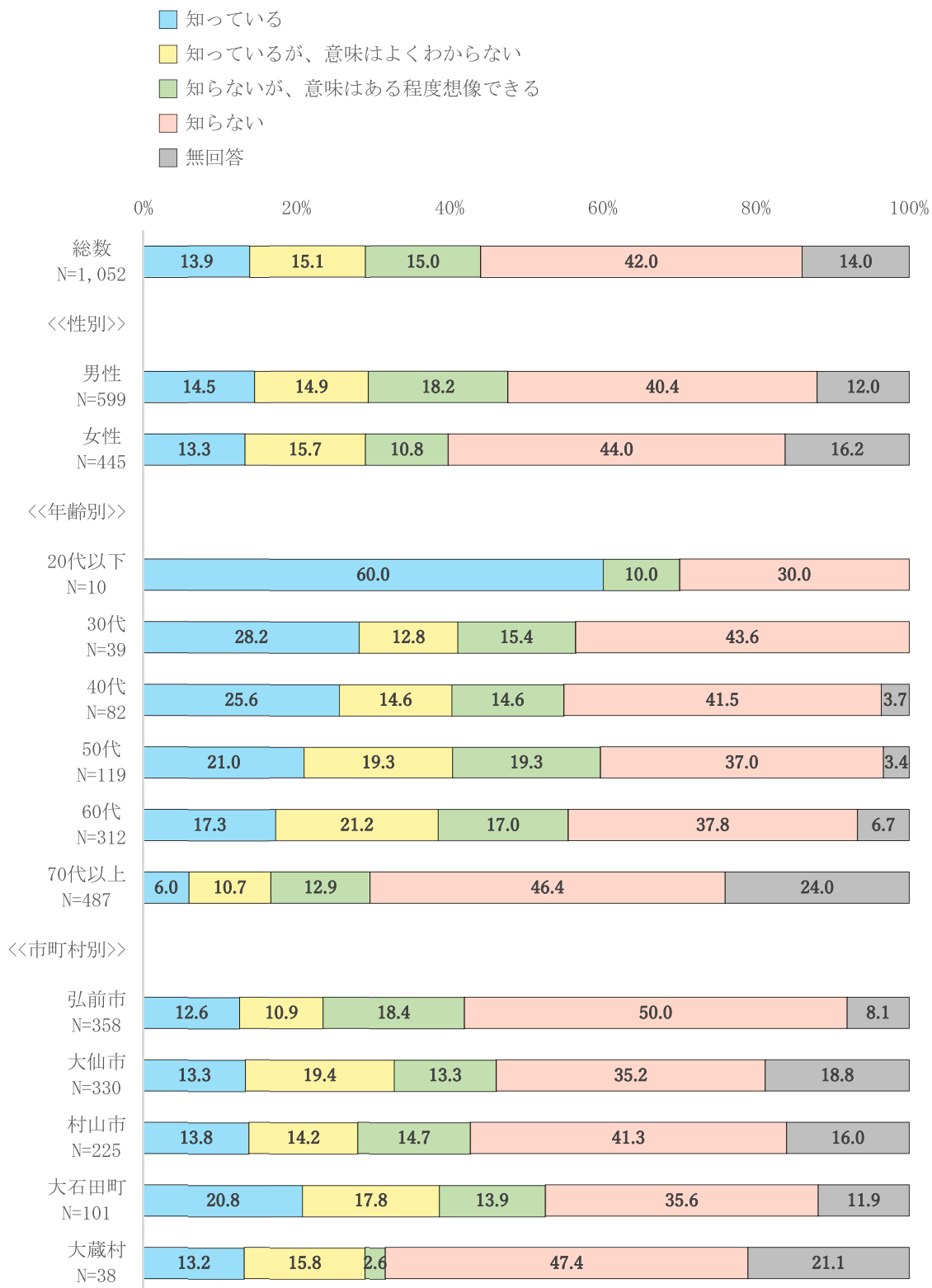
**(10) タイムライン**

「タイムライン」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が13.9%、「知っているが、意味はよくわからない。」が15.1%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が15.0%、「知らない。」が42.0%となり、「知らない。」が最も高かった。

※ タイムライン

災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況をあらかじめ想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。防災行動計画ともいう。

図 38 「(10) タイムライン」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

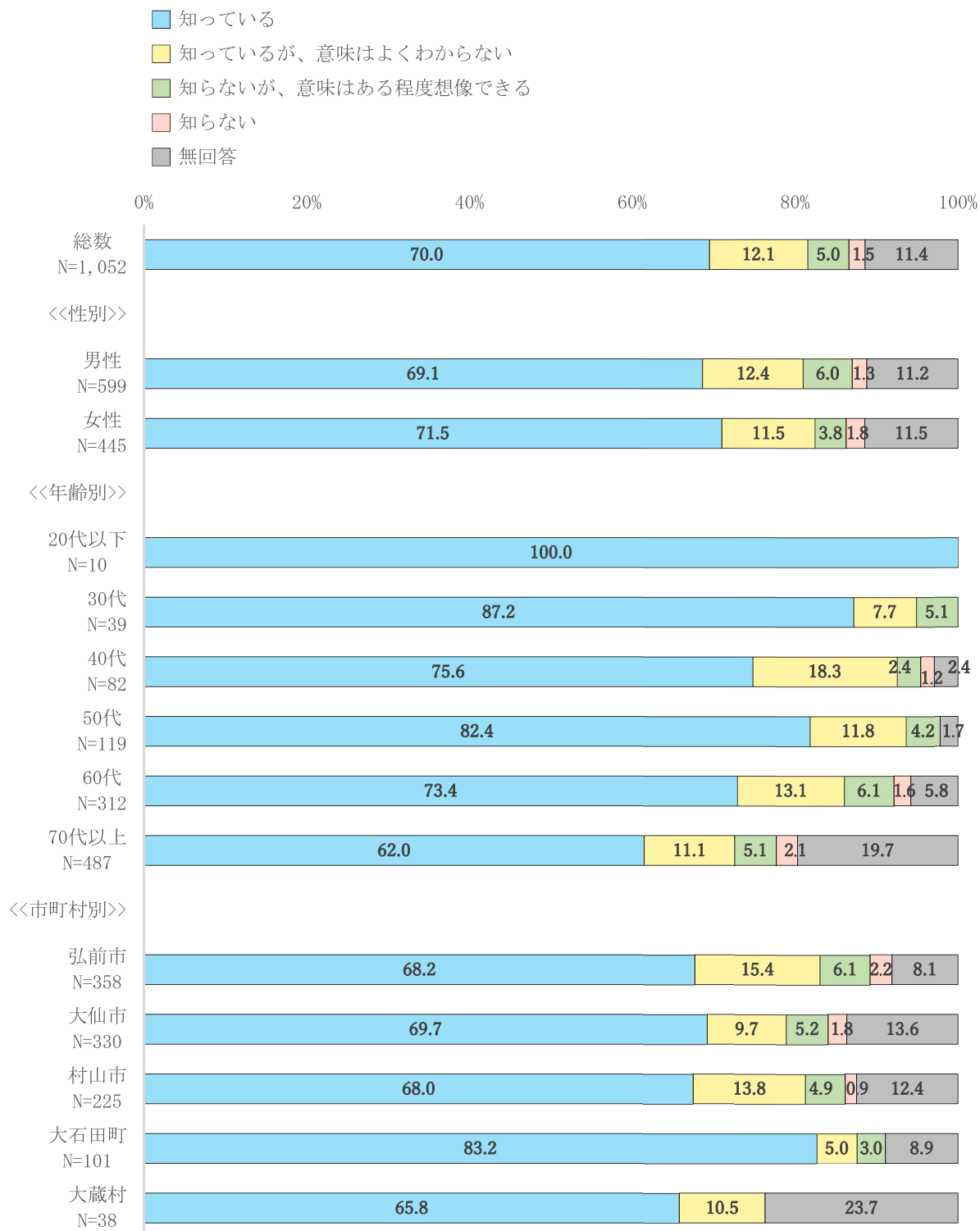
**(11) 避難指示**

「避難指示」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が70.0%、「知っているが、意味はよくわからない。」が12.1%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が5.0%、「知らない。」が1.5%となり、「知っている。」が最も高かった。

**※ 避難指示**

災害リスクのある区域等の居住者等が危険な場所から避難すべき状況において、市町村長から必要と認める地域の必要と認める居住者等に対し、発令される情報。市町村長から避難指示が発令された際には、居住者等は危険な場所から全員避難する必要がある。

図 39 「(11) 避難指示」の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

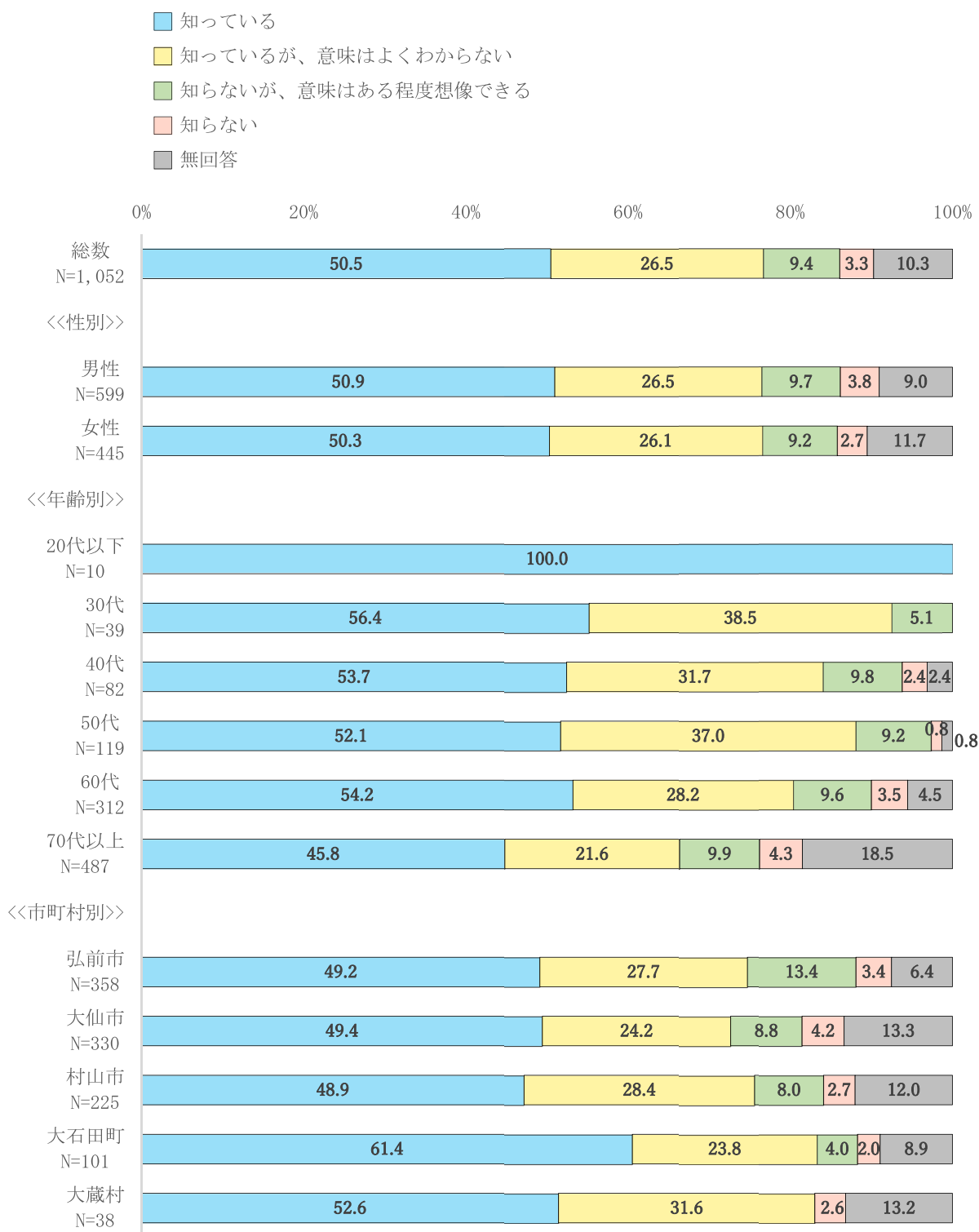
**(12) (大雨) 警戒レベル1~5**

「(大雨)警戒レベル1~5」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が50.5%、「知っているが、意味はよくわからない。」が26.5%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が9.4%、「知らない。」が3.3%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ (大雨) 警戒レベル1~5

災害発生のおそれの高まりに応じて5段階に分類した「居住者等がとるべき行動」と、その「行動を促す情報」とを関連付けるもの

図 40 「(12) (大雨) 警戒レベル 1~5」 の理解度



**問 8-1. ここからは全員の方がお答えください**

気象や災害報道には、よく耳にする用語や言葉がありますが、あなたは、これらの用語や言葉の意味を知っていますか。

次の用語や言葉についてのあなたの理解度について、最も当てはまるものを回答してください。(○は1つ)

**(13) 緊急安全確保 (警戒レベル5に相当)**

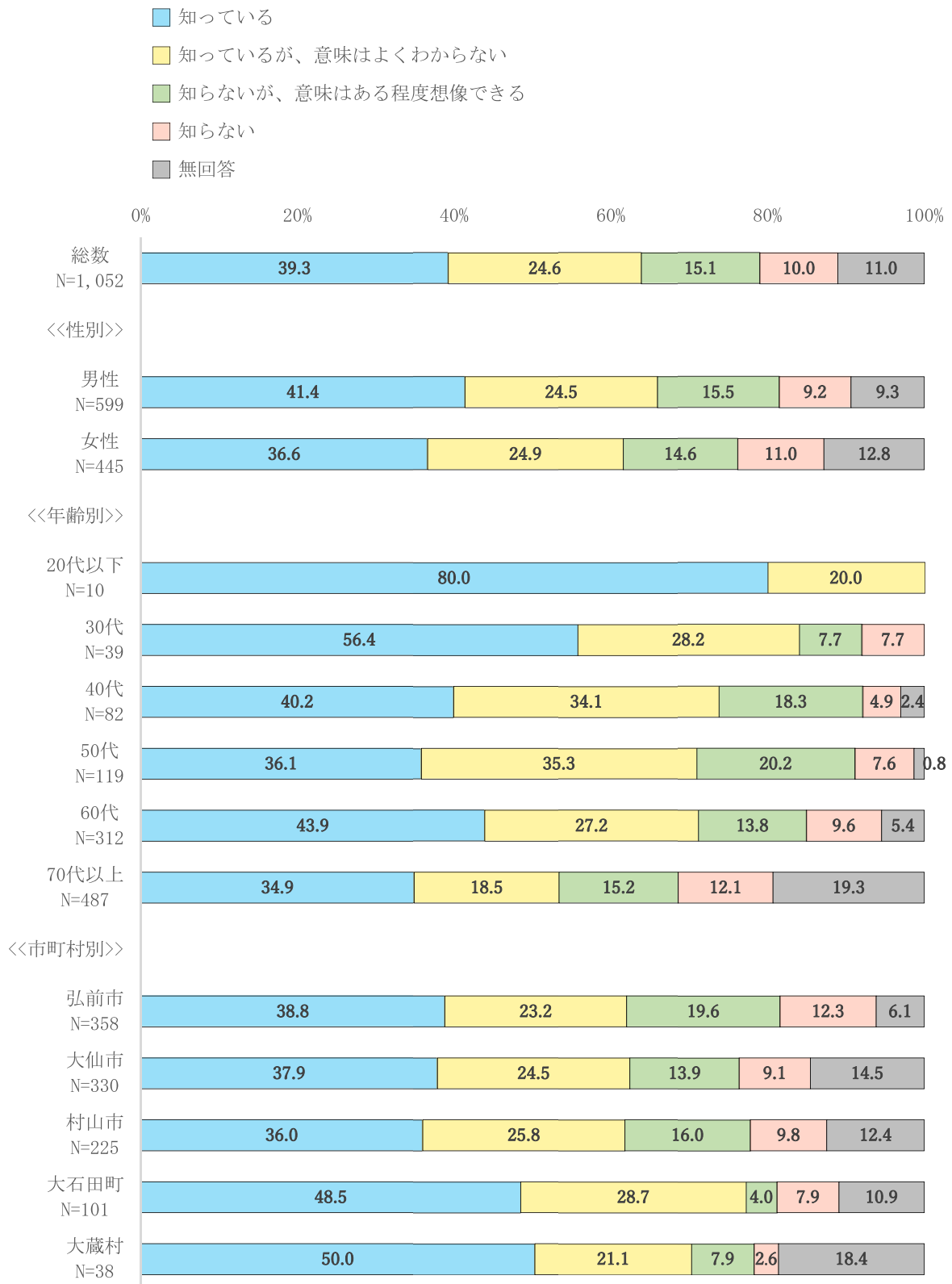
「緊急安全確保 (警戒レベル5に相当)」について知っているか聞いたところ、「知っている。」が39.3%、「知っているが、意味はよくわからない。」が24.6%、「知らないが、意味はある程度想像できる。」が15.1%、「知らない。」が10.0%となり、「知っている。」が最も高かった。

※ 緊急安全確保

「立退き避難」を行う必要がある居住者等が、避難し遅れたために、災害が発生・切迫し、立退き避難を安全にできない可能性がある場合に、立退き避難から行動を変容し、その時点でのいる場所よりも相対的に安全である場所へ直ちに移動等すること。



図 41 「(13) 緊急安全確保（警戒レベル5に相当）」の理解度



**問 8-2. 全員**

**河川のはん濫の危険性を示す情報の順番として正しい(右側の方が危険性が高い情報)のは、次のどれだと思いますか。(○は1つ)**

河川のはん濫の危険性を示す情報の順番として正しいと思うものを聞いたところ、「はん濫注意情報→はん濫危険情報→はん濫警戒情報→はん濫発生情報」が 12.8%、「はん濫注意情報→はん濫警戒情報→はん濫危険情報→はん濫発生情報」(正解)が 71.3%、「はん濫警戒情報→はん濫注意情報→はん濫危険情報→はん濫発生情報」が 6.6%、「はん濫危険情報→はん濫注意情報→はん濫警戒情報→はん濫発生情報」が 4.9%、となり、正解を選択した人が最も多かった。

図 42 はん濫危険性を示す情報の順番

- ① はん濫注意情報→はん濫危険情報→はん濫警戒情報→はん濫発生情報
- ② はん濫注意情報→はん濫警戒情報→はん濫危険情報→はん濫発生情報
- ③ はん濫警戒情報→はん濫注意情報→はん濫危険情報→はん濫発生情報
- ④ はん濫危険情報→はん濫注意情報→はん濫警戒情報→はん濫発生情報
- ⑤ 無回答

※ ②が正しい選択肢

